

60  
209

心理治療院實地研究者藤岡熙嗣先生 著

# 實驗精神療法

東京

嵩山堂發行



自序

予、前著「心理治療法(無催眠治療編、催眠術編、  
 前後二編)著ハシ、井上博士(圓了氏)ノ校閲ヲ經テ、世ニ  
 公トシタコトガアル。然ルニ、同書ハ二編ニ分レタ爲メ  
 前編ノ一ノ讀者ハ、無催眠療法ハ會得スルモ、催眠術療  
 法ヲ會得スルコトガ出來ナイ。又、後編ノミノ讀者ハ、催  
 眠術療法ヲ會得スルモ、無催眠療法ヲ會得スルコトガ  
 出來ナイ。ソレデ一編ノミノ讀者ニ對シテハ、隔靴搔痒  
 ノ感ヲ起サシメタラシイノデアアル。然ルニ、心理療法ナ  
 ルモノハ、無催眠療法、催眠術療法、ノ兩種ヲ俟ツテ始メ

明治  
 49 3 30  
 内交



ニ  
テ完備スベキモノデアツテ、一方ニノミ偏シテハ、到底  
充分ナル目的ヲ達スルト云フコトハ出来ナイノデア  
ル。必ズ、被術者其人ニ依ツテ、臨機應變、兩種ノ方法ヲ  
交ヘテバナラヌノデアアル。

茲ニ於テカ、前後二編ヲ取捨選擇シテ、新ニ本編、即精神  
療法ナルモノヲ著述シ、一部ノモトニ、無催眠療法、催眠  
術療法、ノ二種方法ヲ詳述シテ、斯道研究者ヘノ便益ヲ  
計ツタ考ヘデアアル。

希クバ、江湖ノ諸君本編ニ依ツテ、熟讀アラバ、兩種療法  
ノ極意ヲ會得サレンコト、予ノ喋々スルマデモ無イコ  
トデアアル。

諸君希クバ、御笑覽ノ榮ヲ賜ハラシコトヲ乞フ。

播陽、七種川ノ河畔ニ於テ、

著 者 識



目次

第一章	精神療法トハ何ゾ……………	自一 至四	頁
第二章	精神療法ノ原理……………	自一 至五	頁
第三章	精神療法ノ種類……………	自一 至二	頁
第四章	暗示并ニ其種類……………	自三 至三	頁
第五章	方便ノ必要并ニ其種類……………	自三 至四	頁
第六章	暗示施行ノ順序……………	自四 至四	頁
第七章	施術前ノ注意……………	自四 至五	頁
第八章	無催眠療法……………	自五 至七	頁
第一節	無催眠療法ノ順序……………	自五 至六	頁
第二節	無催眠療法實施模範例……………	自六 至七	頁
第九章	催眠術療法……………	自七 至七	頁
第一節	催眠術ニ於ケル生理的原理……………	自七 至八	頁



第二節	催眠方法	自八一頁
第三節	意志ノ聯合	自一一四頁
第四節	催眠スルニ、要スル費消時間	自一一九頁
第五節	施術中ニ於ケル注意	自一二二頁
第六節	催眠後ニ於ケル注意	自一二四頁
第七節	催眠歩合ニツイテ	自一二八頁
第八節	催眠状態及ヒ其階級	自一二九頁
第九節	催眠後ニ於ケル療法	自一三三頁
第一〇節	覺醒方法	自一四四頁
第一〇章	精神療法ハ、如何ナル疾病ニ効驗アルカ	自一四九頁

以上

# 實驗精神療法

藤岡熙嗣著述

## 第一章 精神療法トハ何ゾ

抑○治○療○法○ニハ諸種ナモノガアル。彼ノ投○藥○治○療○法○ノ如キ湯  
 治○療○法○ノ如キ、或ハ鍼灸治療法ノ如キ、電氣治療法ノ如キ、或  
 ハ轉地療養ノ如キ之レデアアル。

然ルニ、今茲ニ紹介セントスル療法ハ、此等ノ療法トハ違ッ  
 テ、一匙ノ投藥ヲ試ムルト云フノデモ無イ、又湯治療法ヲ勸  
 ムルト云フノデモ無イ、又藥草ニ點火ヲ試ムルト云フノデ  
 モ無ケレバ、又陰陽兩性ノ電氣ヲ使用セヨト云フノデモ無



ク、唯個人ノ腦裏ニ伏在セル精神作用一ツデ、種々ノ疾病ヲ治療セウト云フノデアル。實ニ奇怪千萬不思議ト云フヨリ外ハアルマイ。併シ其眞理ヲ推究シテ見レバ奇怪デモ無ケレバ。又些々ル不審モ無ク、科學的説明ノモトニ立派ニ解釋ナ下スコトガ出來ルノデアル。  
然ラバ其所謂眞理トハ如何ナルモノデアラウカトノ疑問ガ起ルデアラウガ之レハ、至當ナ疑問デアツテ、誰シモ斯ク思フノハ當然ノコトデアアル。今其眞理ニ關シテ、少シク述ベテ見ヤウ。  
扱、人ノ身體ニハ生存スル限り、各精神ト云フモノガ伏在シテ居ル。此精神ナルモノヨソ實ニ奇怪千萬ナモノデ、其本體ハト云ヘバ手ニ取ルコトモ出來テ、又眼ニ見ルコトモ出

來ズ。全ク無形ノモノニハ相違無イガ。此精神作用ノ變化如何ニ依ツテハ、具體的ナル身體即肉體ニマデモ影響ヲ及ボシ、活殺自在ノ權力ヲ備ヘテ居ルモノデアアル。  
試ニ思ヘ、若シ人アツテ、何カノ難事ニ遭遇シテ、精神ヲ苦慮スルコトアラバ如何デアラウ。其結果ヤ、必ズ身體ニ影響ヲ及ボシ、肥滿壯健ナリシ人モ、半病者ノ如キ容體ヲ呈シテ來ル。又知ルベカラズデアアル。如是無形ノ精神ガ具體的ナル身體ニマデモ變化ヲ與ヘルト云ヘバ、實ニ不思議ニ似テハ居ルガ事實ニ於テハ、此言ノ虛僞ナラザルコトヲ證明シテ居ルノデアアル。尙之レニ關スル適例ニ於テモ數多クアルガ次章ニ讓ツテ詳述スル考ヘナレバ、茲ニハ省略シテ置クコト



トセウ。  
兎ニ角精神作用ナルモノハ其變化如何ニ依ツテハ前述ノ如ク肥滿壯健ナル者ヲモ死地ニ臨マシムル如ク又身體ノ薄弱ナル病者ヲシテ其精神作用ニ變化ヲ與フルコトニ依ツテハ又無病壯健ナル樂地ニ向ハシムルコトモ出來ルノデアアル之レ即精神療法ノ依ツテ生ズル所以デ又精神療法ノ主眼トスル所ハ此精神作用ノ利用如何ニアルデアアル。換言スレバ或ル方法ニ依ツテ精神上ニ變化ヲ起サセ其結果病者ノ身體ヲシテ壯健ナル身體ニ變化サセルト云フ方法ガ即予ノ獎勵シツツアル精神療法ナノデアアル。  
イザヤ此治療法ニ關シ予ガ實驗上ヨリ得タル材料ヲ詳述シテ斯術研究者諸氏ヘノ參考ニ供シテ見ヤウ。

○第二章 精神療法ノ原理

精神療法ノ原理ニ關シテハ前章ニ於テ既ニ一言ヲ附シテ置イタカラ今更喋々スルマデモ無ク一ヲ聞イテ十ヲ悟ルノ推察力デ既ニ會得ガ出來タデアラウトハ思フガ併シ讀者ノ稀レニハ一二ノ例證位デハ或ハ了解ニ苦シマレ五里霧中ニ彷徨ハレル人ノ有ルカモ限ラ子バ贅辯ナラントハ信シツツモ今左ニ數種ノ適例ヲ引用シテ心身關係ノ顯著ナルコトヲ證明シテ見ヤウ。

〔第一例證〕 是レハ米國某心理學者ガ實地研究シタ結果デアアル。

死刑ニ處セララルベキ罪人ヲ貰ロ受ケテ眼ノ見エナイ



ヤウニ面部ヲ包シテ置イテ、死刑場へ連レ行キ、オ前ハ、彌々、此所デ斬首ノ刑ニスルカラ覺悟セヨ」ト眞實ラシク言ツテ、劍ノ背部、即、斬レヌ方デ、首筋ヲ輕ク打ツタノニ、罪人ハ、忽前方へ倒レテ、遂ニ絶息死亡シタト云フコトデアアル。

〔第二例證〕 是レハ、西洋デ「ドクトル」某醫ガ、虎列刺病ハ自作病デアアル、傳染病デハ無イト云ツテ、是レモ前同様死刑ノ罪人ヲ貰ロ受ケテ、實驗ヲ試ミタ結果デアアル。始メ、罪人ヲ其病室ニ寢サシテ置イテ、某醫師其室ニ臨シテ云フヤウ。

「此室ハ、虎列刺患者ガ昨日死亡シタ其儘ノ病室ダカラ、虎列刺病ガ傳染シテ居ラチバ宜イガ」ト、態ト罪人ニ聞

ユル如ク獨言シ、罪人ノ手ヲ取ツテ脈膊ヲ檢シ、體温ヲ檢シテ後、「ア、仕舞ツタコトナシタ、傳染シタ模様デア」ル。ト云ツテ、此室ヲ罪人ノ目ノ前デ眞實ラシク消毒ヲ濟マシ、罪人ニモ形式的ノ手當ヲ施シテ、他ノ病室ニ連レ行キ、寢サセテ置イタノニ、此罪人ハ虎列刺病ト同シ現象ヲ來タシ、漸々下痢嘔吐ヲ催シ、遂ニ死亡シタト云フコトデアアル。

〔第三例證〕 是レハ嘗テ獨逸ノ國デアツタコトデアアル。或ル日、醫學生ガ其傍ニアツタ麵包ノ一片ヲ取ツテ、何心ナク食ツタノニ、傍人戯レテ、其麵包ハ、砒素ヲ入レタモノデ、犬ヲ殺サン爲メノ準備デアツタノニ、仕舞ツタコトナシタ」ト眞實ラシク云ツタノニ、素人ナラバ其



チユトモ無ツタデアラウニ、醫學生ノユトトテ藥物ノ  
理ヲ知り砒素中毒ノ症狀ヲ知ツテ居ツタ所カラ、忽チ  
砒素中毒ト同様ノ現象ヲ發シテ、遂ニ死亡シタト云フ  
ユトデアアル。

右ノ例證ハ、至極極端ナル引例ナレバ、或ハ讀者諸氏ニ對シ、  
不信ノ念ヲ起サセタカモ知レナイガ、如何程極端ナル引例  
ニモセヨ、事實上有ツタユトデ、心理學者并ニ醫師ノ實驗談  
ナレバ、其積リテ、眞味ヲ味ハウテ貰イタイノデアアル。

〔第四例證〕 是レハ八九年前吾郷里(播磨國神崎郡八千種

村)ニアツタ事實デアアル。(姓名ハ無禮ナレバ省畧ス)

此人ハ樵夫ヲ始終奥山ヘ働キニ行ツテ居ツタノデア  
ル。所ガ天性意地惡デ其上食氣ニハ賤シカツタノデア、常

ニ同職間ニ惡マレテ居ツタト云フユトデアアル。

或時同職ノ者五六名相談シテ、彼ノ某ハ意地惡デ其上  
食氣ニハ賤シイカラ一ツ騙シテヤラウ。ト云ツテ、某ニ  
知レヌヤウニ蛇ヲ料理シテ、鱗ヲ取り、頭ト尾トヲ除イ  
テ、之レヲ竹串ニ刺シ、焼イテ準備ヲナシ、自分等五六名  
ノ者ハ某ニ知レヌヤウ、少々早ク晝飯ヲスマシ、今ヤ遅  
シト某ノ歸リ來ルヲ待ツテ居ツタト云フユトデアアル。  
然ルニ某ハ斯クトハ知ラナイノデア、例ノ通り歸リ來ッ  
テ、オ前ダチハ何ナシテ居ルノダ、私ハオ前ダチガ居ラ  
ヌノデア不審シテ居ツタノデアアル。ト云ツタソウナ。スル  
ト、五六名ノ者ハ、イヤ、不審デモアラウガ、實ハ今朝早ク  
鰻ヲ買ツテ居ツタノデア料理ヲ濟シ、今晝飯ヲ濟シタ所



デアル。オ前モ一切置イテアルカラ食へ。ト云ツテ例ノ  
 蛇ヲ出シタノニ、某ハ蛇トハ露知ラズ、アア美味イ。ト云  
 ツテ食ヒ終リ、「モ一ツ無イカ。」ト云ツテ例ノ食氣賤シイ  
 コトヲ云ツタノデ、五六名ノ者ハ「頭ヲラバアルガ其レ  
 デモ宜イカ。」ト云ツテ、例ノ蛇頭ト尾トヲ出シタノニ、某  
 ハ是レヲ見ルヤ否ヤ、忽チ顔色青變シテ、フルロチ生ジ、  
 家ニ歸ツタガ病床ニ就キ、遂ニ死亡シタノデアル。  
 是レ蛇ガ中毒シタノデハ無カラウ、萬一少々位ハ中毒  
 シタニセヨ、死亡スルナドト云フノハ、結局精神作用ノ  
 然ラシメタ結果ガ多カラウト思フノデアル。

〔第五例證〕 兼テ予ノ弟ガ病氣ニ罹ツテ、咽喉部ガ甚ダ痛  
 ンデ咳ガ出タコトガアツタ。何ノ病氣ヤラ一尙分ラヌ

ノデ心配デナラヌ、早速隣村ノ荒木某醫ニ診察ヲ受ケ  
 タコトガアツタ。所ガ診察ノ結果、之レハ肺病デ右ノ肺  
 ガ餘程重患ニナツテ居ル、早ク養生ヲナサイ。ト云ツタ  
 ノデ、弟ハ大ニ心配シテ、アア仕舞ツタコトヲシタ肺病  
 ナラバ、到底生命ハ助カルマイ。ト思ツテ大ニ落膽シテ  
 二三日病床ニ就イタノデアツタ。ソレデ、家内ノ者タチ  
 モ心配シテ、肺病ナドガ出テハ仕方モ無イガ、併シ醫師  
 ノ誤診カモ知レナイカラ、今一度名醫ノ診察ヲ受ケテ  
 見ルガ宜カラウ。ト云ツテ直グ姫路縣立病院ヘ遣ツタ  
 ノデアアル。所ガ、院長診察ノ結果、之レハ肺病デハナイ、咽  
 喉加答兒デ腫レテ居ル爲メ痛ムノデアアル。決シテ心配  
 スルニハ及バナイ。此病氣ヲ肺病ト誤診シタノハ誰レ



カ。此藥ヲヤルカラ、二三日含ンデ見ナサイ、痛ガ止ルカラ。ト云ツテ鹽酸加里水ヲ吳レタノデアアル。弟ハ肺病ダト思ツテ毎日心配シテ居ツタノニ、喉咽加答兒デ、之レガシカモ名醫院長ノ診察ダカラ、嬉シクテナラナイ、行キ途ニハ、足ガ重クテ困難シタノニ、歸リ途ニハ足ガ輕イヤウナ感シガシタサウナ。家ニ歸ツテカラモ、病床ヲ離レテ、近所ヲ遊ビ廻ツテ居ツタガ、院長ノ診察通り二三日ノ後ニハ、咽喉ノ痛ミモ止リ、一週間ノ後ニハ、元ノ身體トナツタノデアアル。

何ント面白イ話デハナイカ。併シ之レハ、小説的ノ話デハナイ、實際アツタコトデアアル。

右ノ例證ハ、予ガ目撃シタルモノナレバ、事實ニ相違無キコトナズニ確言シテ置カウ。

トナズニ確言シテ置カウ。

〔第六例證〕 世間ニハ、父母若シクハ、祖父母ノ命日ニ死亡スル病者ノ多イノハ何故デアラウカ、之レハ外デハナイ、私ノ病氣ハ重イカラ到底癒ルヤウナコトハ無イ、來ル何日ハ誰レノ命日ダカラ死スルニ相違無イ。ト自信スル結果ニ、外ナラヌノデアアル。

〔第七例證〕 灸スル時、火ノ付カザル藥草ノ轉ビタルヲ、火ノ付キタルモノト誤信シテ、熱サヲ感ズルコトノアルハ誰人モ經驗上ヨリアルコトデアアル。

又、同シ場合ニ術者ノ誤ツテ、灸箸ヲ背ニ觸レシムルコトアラバ、前ト同シク熱サヲ感ズルコトノアルハ、誰モ疑ハナイ所デアアル。



右ノ二例證ハ誰人モヨク經驗スル所ナレバ、今更喋々説明  
スルマデモナク既ニ了解ガ出來タデアラウ。  
之レヲ要スルニ精神作用ノ變化ニツレテ身體即肉體ニマ  
デ變化ノ起ルベキコトハ前述ノ諸適例ニ徴シテ既ニ明瞭  
ナル如ク精神作用ノ變化一ツデ身體ニマデ變化ノ起ルベ  
キコトハ最早疑フベカラザル確説ト云ハチバナラヌノデ  
アル從ツテ精神療法ノ主眼トスベキ原因ハ精神作用ノ變  
化ニアルト云フコトガ明言出來ルノデアアル。  
然ラバ如何ニシテ精神作用ニ變化ヲ與ヘ、病者ノ身體ヲ全  
癒ニ向ハシムルカト云フ方法ニ至ツテハ、後章ニ讓ツテ詳  
述スル考ヘデアアル。

第三章 精神療法ノ種類

被術者ノ精神上ニ變化ヲ與フレバ、從ツテ身體ニモ影響ヲ  
及ボシ、病者ノ薄弱ナル身體ヲモ無病健全ナル身體ニ變ゼ  
サセルコトノ出來得ベキコトハ、前章ニ於テ既ニ詳述シタ  
如クデアアル。  
併シ、其被術者ノ精神ニ變化ヲ與ヘルト云フコトニツイテ  
ハ、一定ノ方法ノミデハ、不満足デアアル。例ヘバ、甲ニ適當ナル  
方法モ、乙ニハ不適當トナリ、甲乙二者ニ不適當ナル方法モ、  
丙ニ向ツテハ適當スルト云フ點ガアルカラデアアル。從ツテ、  
被術者其人ニ依ツテハ、臨機應變諸種ノ方法ヲ取ラチバナ  
ラヌノデアアル。換言スルト、被術者其人ニ依ツテ、人ヲ見テ法



ナ説ケ「トノ意義ヲ利用セテバナラヌノデアアル。依之精神療法ニ於テモ被術者其人ニ依ツテ諸種ノ方法ガ必要トナツテ來ルコトハ、今更贅辯ヲ費スマデモ無ク、既ニ御同感ノコトデアラウト思フ。  
今此種類ニ關シテ、左ニ表ヲ示シ、之レニ説明ヲ附シテ見ヤウ。

○精神療法

無催眠療法科學的無催眠療法

催眠術療法科學的催眠術療法

實ニ精神療法ナルモノナ、大別スルト、前表ノ如クニ、無催眠療法、催眠術療法、ノ二種ニ區別サレ、又此二種方法ハ、各科學

的療法、神秘的療法、ノ二種ニ區別スルコトガ出來ルデアラウト思フノデアアル。今左ニ順次、各種ノ療法ニ關シテ、予ノ愚見ヲ詳述シテ見ヤウ。

◎無催眠療法——トハ、即催眠術療法ニ對シテ附シタ名稱デ、一見、催眠術療法デ無イト云フコトヲ示シタノデアアル。御承知ノ如ク、催眠術療法ナルモノハ、催眠術ノ方法ニ依ツテ、被術者ヲ催眠状態第一二九頁参照ト云フ一種奇妙ナル状態ニ變ゼシメテ、然後、治療方法ヲ施スト云フ、順序ヲ踏マテバナラヌノデアアル。然ルニ此無催眠療法ニ於テハ、催眠術ニ依ツテ、被術者ヲ催眠状態ニ導クト云フコトハセナイ、唯、普通覺醒ノ状態、即人間普通ノ状態ニ於テ治療方法ヲ行ヒ奏効サセルト云フ至極便利ナ方法デアアル。約言スルト、催眠状態



態ニ導カズシテ行フベキ精神療法ト云フコトニナルノデアル

◎催眠術療法——トハ前述ノ如ク催眠方法ニ依ツテ被術者ヲ催眠状態ト云フ一種奇妙ナル状態ニ導キテ然ル後治療法ヲ行フト云フ方法デアル

實ニ精神療法ナルモノノ種類ハ無催眠療法催眠術療法ノ二種ニ過ギナイコトハ前表ノ如クデハアルガ併シ又此二種方法ハ各科學的療法神秘的療法ノ二種ニ區別スルコトガ出來ルノデアル

今左ニ之レガ説明ヲ加ヘテ見ヤウ

◎科學的療法——トハ如何ナル方法カト云フニ外デハ無イ同シ療法ヲ施シツツモ根本原理ヲ心理ニ取り科學的説明

ノモトニ行ハントスル療法ヲ云フノデアツテ現今科學的論者ノ多クガ行ヒツツアル方法ハ此種ニ屬スルモノト云ツテ宜イノデアル

◎神秘的療法——トハ科學的療法トハ違ツテ根本原理ヲ神秘即神佛ノ力トカ咒文ノ力トカ云フ如キ鬼神ノ靈妙作用ニ歸シ迷信的説明ノモトニ療法ヲ行ハントスル方法ヲ云フノデアル彼ノ宗教者中ニアル祈禱者禁厭者ノ行ヒツツアル方法ノ如キハ即之レニ屬スルモノデアル

兎ニ角精神療法ノ種類ニ關シテハ前述ノ如ク種々ノ方法ガアルト云フコトハ既ニ會得ガ出來タデアラウ然ラバ予ノ獎勵シツツアル療法ハ如何ナル方法ナルカニツイテ少シク述ベテ見ヤウ



扱精神療法ノ根本原理ニ關シテハ前章(第五頁参照)ニ於テ既ニ詳述シタル如ク被術者ノ精神作用ニ歸スルト云フコトハ最早疑フベカラザル確説ト信ゼ無ケレバナラヌ從ツテ被術者ノ精神作用ヲ利用シテ此種ノ療法ヲ施サントスル術者ハ第一ニ被術者ノ信用ト云フコトヲ求メチバナラヌ併シ被術者ノ心性ナルモノハ萬種萬態デアツテ決シテ一樣デハ無イカラ同シ療法ヲ施スニツケテモ被術者其人ニ依ツテハ科學的療法ヲ取り或ハ神秘的療法ヲモ交ヘ無ケレバナラヌ必要ガ生シテ來ルノデアアル從ツテ予ノ獎勵シツツアル精神療法ニ於テモ被術者其人ニ依リ臨機應變適當ナル種々ノ方法ヲ取ラチバナラヌノデアアル然ラバ其適當ナル方法トハ如何ナル方法ナルカトノ疑問ガ起ルデ

アラウ予ハ此疑問ニ關シテハ後章ニ於テ詳述スル考ヘダカラ茲ニハ省畧シテ置カウ。

○第四章 暗示并ニ其種類

精神療法ヲ行フニハ無催眠療法催眠術療法ノ區別ナクドナラニモ是非用非チバナラヌ暗示ト云フモノガアル實ニ精神療法ナルモノ此暗示ノ作用ニ依ツテ被術者ノ精神ニ治療的ノ變化ヲ與ヘ此結果治療ニ向ハシムルト云フ方法ニ過ギナイノデアアル然ラバ其暗示トハ如何ナルモノカト云フニ外デモ無イ或ル目的ノ爲メニ被術者ニ對シテ注入的ニ命令スル語ノコトヲ云フノデ換言スルト即被術者ヲ信用サセテ何か術者ノ要求スル所ノ觀念ヲ畫カセ其結



果身體上ニ何かノ現象ヲ起サセシメ爲メニ與フル所ノ一種ノ命令トモ云フベキモノデアアル。

今之レヲ前ノ原理的例證ニ照シテ説明ヲ加ヘテ見ヤウ。

前ノ原理的例證第一例(第五頁参照)ニ於テハ、罪人ニ向ツテ、  
「オ前ハ彌々此處デ首斬ノ刑ニスルカラ云々」ト云ツテ罪人ノ精神作用ニ變化ヲ起サセシメ爲メ、即罪人ニ「今首ヲ斬ラルル」トノ觀念ヲ畫カセル爲メ、眞實ヲシク命令シタノデアアル。之レガ即今云フ暗示ト云フモノデアアル。

又第二例(第六頁参照)ニ於テモ、罪人ニ「虎列刺病ガ傳染シタトノ觀念ヲ畫カセル爲メ、罪人ニ態ト聞ユルヤウ」ト云フ仕舞ツタコトヲシタ傳染シタ模様デアアル。ト獨言シテ諷刺的ニ云ツタノデアアル。是レハ、命令的ニ直接云ツタノデアアル無イガ、

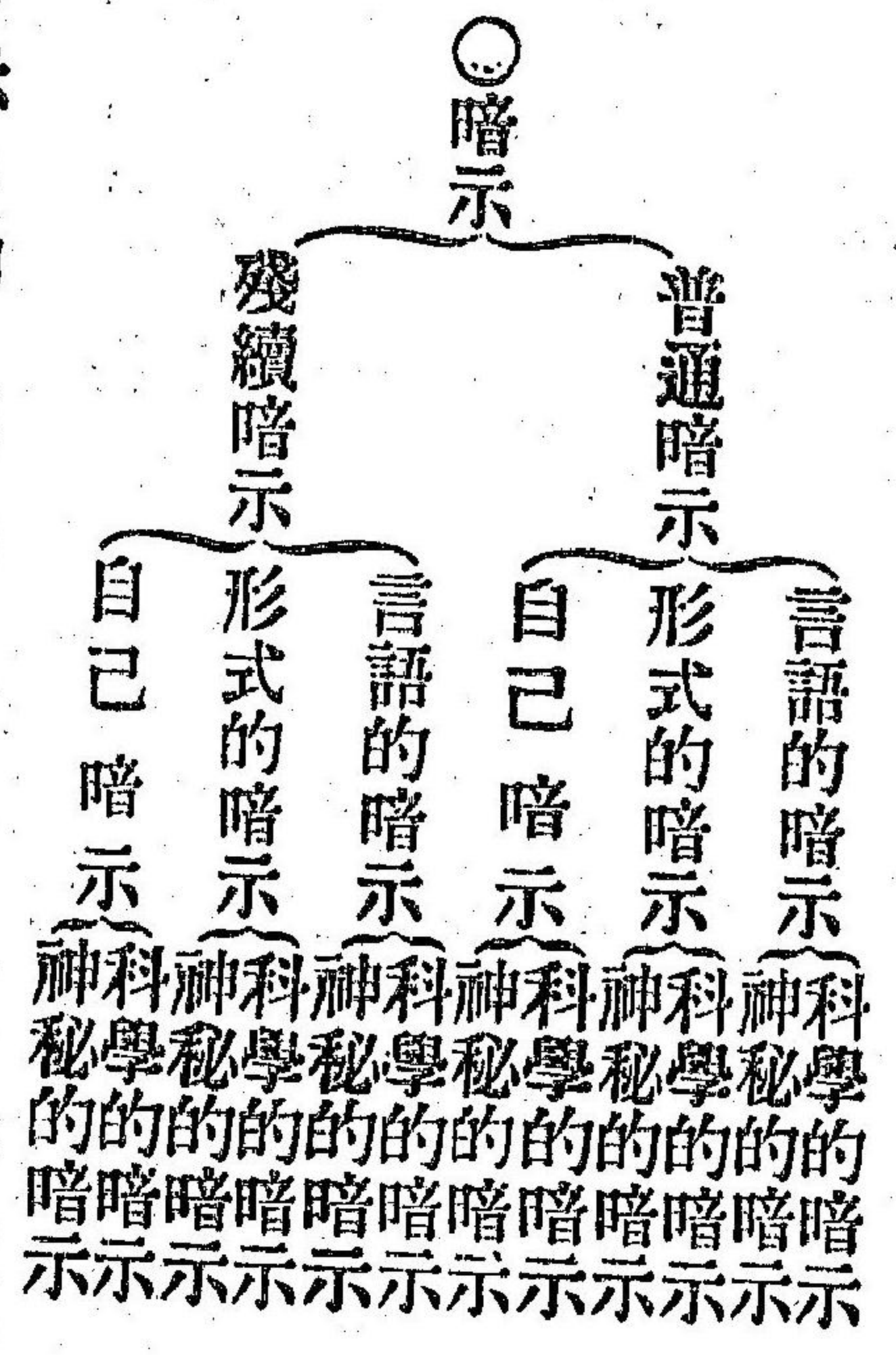
同シク罪人ヲ信ゼサセル爲メ云ツタ方便の諷刺ダカラ、結局暗示ニ屬スルモノト云ツテ宜イノデアアル。今暗示ナルモノヲ一言ニテ約シテ見ルト、次ノ如クニナルデアアル。

言語ヲ以テスルノモ、形式的手段ヲ以テ暗示々ニ示スノモ、其種類ハ多カラウガ、被術者ノ精神作用ヲ促シ、術者ノ要求スル所ノ何かノ觀念ヲ畫カセル方法デアリサヘスレバ、暗示ニ屬スルモノト云ツテ宜イノデアアル。

暗示ノ説明ニ關シテハ、大畧會得ガ出來タデアラウガ、又此暗示ノ種類ニ關シテモ、種々ノモノガアルコトハ、前述ノ如ク、精神療法ヲ行ハントスルニハ、是非共、其等各種ノ暗示ガ必要トナツテ來ルノデアアル。今左ニ暗示ノ種類ニ關シテ予ノ愚見ヲ述ベテ見ヤウ。併シ、其種類ニ關スル是非ノ如キ



ハ分ラナイカラ、讀者諸氏ノ御批評ヲ希望スル次第デアアル。扱暗示ニハ、予ノ經驗上、左表ノ如キ種類ガ有ルデアラウト思フノデアアル。



前表ニ示ス如ク、暗示ヲ大別スルト、普通暗示、殘續暗示ノ二種ニ分レ、又此二種暗示ハ、各言語的暗示、形式的暗示、自己暗示

示ノ三種ニ區別スルコトガ出來ルノデアアル。而シテ又此三種暗示ハ、各科學的暗示、神秘的暗示ノ二種ニ區別スルコトガ出來ルノデアアル。實ニ是等各種ノ暗示ハ、施術上、最必要ノモノナレバ、今ヨリ、此等各種ノ暗示ニ關シテ、順次説明ヲ加ヘテ見ヤウ。

◎普通暗示トハ、施術其場限リニ關係ヲ及ボスヘキ暗示ノコトデアツテ、施術ヲ終ツタ後、即未來ニマデモ永續的ニ關係ヲ及ボスト云フ暗示ノコトデアハ無イノデアアル。例ヘバ、「オ前サンノ頭痛ハ今癒ツタ。」トカ、「オ前サンノ腹痛ハ、今癒ツテ仕舞ツテ、少シモ痛クアリマセン。」トカ、或ハ「此向フニハ、奇麗ナ牡丹ノ花ガ咲イテ、井マスカラ御覽ナサイ。」トカ、此處デ大キナ猿ガ躍ツテ、井マスカラ、此菓子ヲ



上ゲナサイ。トカ云フ如キ、暗示ヲ云フノデアアル。  
 併シ、理論上ヨリ云ヘバ、普通暗示トハ前述ノ如キ暗示ヲ云  
 フノデアアルガ、之レハ、單ニ理論上ノ話デ、施術ノ實際ニ於  
 テハ、與フル暗示ノ形式ユリ、普通暗示デハアルガ、其結果、即  
 暗示ニ依ツテ起ル現象ヨリ云ヘバ、明瞭ニ區別スルユトハ  
 出來ナイノデアアル、斯クハ云フモノ、若、之レガ完全ナル、催  
 眠状態ニ於テ與フル暗示ナラバ、其起ルベキ現象ニ於テモ、  
 明瞭ニ區別スルユトガ出來ルガ、彼ノ無催眠療法第一五頁  
 参照ノ場合ノ如キ、或ハ催眠状態ノ薄弱ナル場合、第一三三  
 頁参照ニ於テハ、其結果ニ於テ明瞭ナル區別ヲスルユトガ  
 出來ナイノデアアル、其レハ外デモ無イガ、此二種ノ場合ニ於  
 テハ、被術者ニ充分ナル記憶力が存シテ居ルカラ、施術其場

限リニト思ツテ、與ヘタ普通暗示ヲモ、明瞭ニ記憶シテ居ル  
 カラ、其結果、普通暗示ガ普通暗示トナラヌ場合ガアルカラ  
 デアル。  
 併シ、治療ノ場合ニ於テハ、此普通暗示ヨリモ、次ニ説明セン  
 トスル、殘續暗示、即施術ヲ終ツタ後、未來ニマデ關係ヲ及ボ  
 スベキ暗示ノ方ガ却ツテ効力が多イノデアアルカラ、斯カル  
 説明ハ、唯理論上ノ話デ、施術上ニ於テハ、大シタ必要モ無イ  
 ノデアアル。  
 ◎殘續暗示トハ、普通暗示トハ全ク反對デ、施術其場限リ  
 デハ無ク、施術ヲ終ツタ後、即未來ニマデモ關係ヲ及ボスベ  
 キ暗示ヲ云フノデアアル、例ヘバ、  
 「オ前サンノ腹痛ハ今晚ガ來ルト癒ツテ仕舞フ。」トカ、オ



前サンハ、明日ノ午後十時ガ來ルト、赤色ガ白色ニ見エ  
ル。トカ云フ如キ暗示ヲ云フノデアアル。

此殘續暗示ナルモノハ、治療上最モ必要ナル暗示デアツテ、  
精神療法ニ於テハ、此暗示ヲ利用シテ、被術者ノ治療的觀念  
ヲ施術後ニマデモ、永續サセテ漸々ト全癒ノ域ニ向ハシメ  
タリ、或ハ、此暗示ノ利用ニ依ツテ施術後、術者ノ要求スル所  
ノ或ル時機ニ於テ、或ル現象ヲ起サシメ、其結果、至極難澁ナ  
ル病者ヲシテ、快方ニ向ハシメタリスルコトモアルノデア  
ル。  
又、治療以外ノ催眠術、即術者ノ要求スル、或ル奇現象ヲ施術  
後ニ起サシメントスル場合ノ如キハ、是非共此暗示ノ効用  
ヲ藉ラチバナラヌノデアアル。

之。ノ。ヲ。要。ス。ル。ニ。精。神。療。法。ノ。如。キ。或。ハ。諸。種。ノ。催。眠。現。象。ノ。如  
キ。ハ。此。殘。續。暗。示。ト。前。述。ノ。普。通。暗。示。ト。ノ。二。作。用。ニ。基。イ。テ。生  
ズ。ル。現。象。ニ。過。ギ。ナイ。ノ。デア。ル。

實ニ前二種暗示ハ、施術上、至極必要ノモノナレバ、ウマク、利  
用サレシムコトヲ讀者諸氏ニ希望スル次第デアアル。

◎言語的暗示——トハ、術者ノ言語ニ依リ被術者ニ與フル所  
ノ暗示ノコトデアツテ、普通暗示、殘續暗示ノ區別ナク、ドチ  
ラヘモ、用井チバナラヌ暗示ノコトデアアル。即暗示ナルモノ  
ノ多クハ、此言語的暗示ニ依ツテ施サレテ居ルノデアアル。如  
是言語的暗示トハ、術者ノ言語ニ依ツテ注入スル暗示ノコ  
トデ、今更喋々説明ヲ附スル必要モ無ケレバ、茲ニハ省畧シ  
テ置クコトニセウ。



◎形式的暗示——トハ術者ガ言語ニ依ラズ、何カノ形式的手  
段ヲ以テ被術者ニ諷刺的ニ注入スル暗示ノコトヲ云フノ  
デアル。例ヘバ、

筋肉ヲ摩擦シタリ、或ハ薄弱ナル電氣ノ刺戟ニ依ツテ、  
其レト無ク治療的觀念ヲ起サセタリ、或ハ手ヲ廻ハス  
コトニ依ツテ催眠觀念ヲ起サセタリスル類ノ暗示ヲ  
云フノデアル。

◎自己暗示——トハ術者ノ暗示ニ依ラズシテ、唯被術者自己  
ガ自ラ精神上ニ與フル暗示ノコトヲ云フノデアル。例ヘバ、  
「自分ハ名醫ノ治療ヲ受ケタカラ、之レデ全快スルニ相  
違ナイ。」トカ、或ハ自分ハ毎日、リンドン電氣帶ニ依ツテ、  
電氣ヲ掛ケツツアレバ、自分ノ神經衰弱ハ追々癒ツテ

來ルニ相違無イ。トカ、或ハ之レヲ神秘的ニテ云ヘバ、御  
祈禱ノ神水ヲ飲ンダカラ、最早、自分ノ腹痛ハ癒ルニ相  
違無イ。トカ云フ如ク、自己自心ニ與フル暗示ノコトヲ  
云フノデアル。

斯クノ如ク、術者ニ依ラズ、被術者自己ガ自ラ精神上ニ與フ  
ル暗示ノコトヲ自己暗示ト云フノデアルガ、又之ニ對シテ、  
術者ニ依ツテ與ヘラルル所ノ暗示ノコトヲ依他暗示トモ  
云フノデアル。  
然シテ、精神療法ニ於テハ、前述ノ依他暗示ニ依ツテ自己暗  
示ヲモ起サシメ、其結果被術者ノ治療的觀念ヲ比較的永久  
ニ持續ナサシメテ、治療ニ向ハシムルノデアル。  
之レヲ要スルニ、依他暗示トハ、術者ガ被術者ノ精神上ニ變



ト。被。術。最。早。喋。々。ス。ル。マ。デ。モ。無。イ。コ。ト。デ。ア。ル。之。レ。ガ。所。謂。方。便。  
 ハ。術。者。其。人。ニ。依。リ。是。等。兩。種。ノ。暗。示。ガ。必。要。ト。ナ。ッ。テ。來。ル。コ。  
 ナ。與。ヘ。テ。適。當。ナ。ル。場。合。モ。ア。レ。バ。或。ハ。次。ニ。說。明。セ。ン。ト。ス。ル。  
 ナ。ラ。ヌ。ノ。デ。ア。ル。從。ッ。テ。被。術。者。其。人。ニ。依。ッ。テ。方。法。ヲ。取。リ。テ。示。  
 レ。バ。被。術。者。其。人。ニ。依。ッ。テ。臨。機。應。變。適。當。ナ。方。法。ヲ。取。リ。テ。示。  
 テ。モ。被。術。者。其。人。ニ。依。ッ。テ。少。異。ッ。テ。來。ル。デ。ア。ル。換。言。ス。  
 心。性。ガ。異。ツ。テ。居。ル。ダ。ケ。レ。ダ。ケ。術。者。ノ。施。ス。ベ。キ。方。法。ニ。於。  
 既。ニ。會。得。サ。ル。所。デ。ア。ル。然。ル。ニ。被。術。者。其。人。ニ。依。ッ。テ。各。其。  
 ノ。理。法。ニ。基。イ。テ。治。療。ニ。向。ハ。シ。ム。ル。方。法。ナ。ル。コ。ト。ハ。讀。者。ノ。  
 ニ。術。者。ノ。要。求。ス。ル。或。ル。觀。念。ヲ。畫。カ。シ。メ。テ。其。結。果。心。身。關。係。  
 ト。云。フ。ニ。外。デ。ハ。無。イ。精。神。療。法。ナ。ル。モ。ハ。被。術。者。ノ。精。神。上。

然。ラ。バ。如。何。ナ。ル。場。合。ニ。於。テ。斯。カ。ル。科。學。的。暗。示。ヲ。用。非。ル。ヤ。  
 云。フ。ノ。デ。ア。ル。言。語。的。暗。示。ノ。場。合。  
 「心理作用ヲ病氣ガ癒ル。」トカ。生理作用ヲ病氣ガ癒ル。」ト  
 カ。或。ハ。此。藥。ノ。作用ヲ病氣ガ癒ル。」トカ。云。フ。如。キ。暗。示。ヲ  
 例。ヘ。バ、  
 物。作。用。ナ。ド。ノ。科。學。的。原。素。カ。ラ。取。ツ。タ。暗。示。ヲ。云。フ。ノ。デ。ア。ル。  
 示。ノ。コ。ト。デ。即。暗。示。ノ。根。元。ヲ。心。理。作。用。ト。カ。生。理。作。用。ト。カ。藥。  
 暗。示。形。式。的。暗。示。自。己。暗。示。ノ。三。種。何。レ。ニ。モ。含。マ。レ。テ。居。ル。暗。  
 ◎科。學。的。暗。示。ト。ハ。前。表。第。二。三。頁。參。照。ニ。示。ス。如。ク。言。語。的。  
 示。ヲ。云。フ。ノ。デ。ア。ル。  
 化。ヲ。與。ヘ。ン。爲。メ。ニ。與。フ。ル。暗。示。ノ。コ。ト。デ。自。己。暗。示。ト。ハ。自。己。  
 ガ。或。ル。動。機。ニ。基。イ。テ。自。ラ。精。神。上。ニ。變。化。ヲ。與。フ。ル。場。合。ノ。暗。  
 示。ヲ。云。フ。ノ。デ。ア。ル。



ノ。必。要。ト。云。フ。ベ。キ。モ。ノ。デ。ア。ル。若。シ。施。術。者。其。人。ニ。シ。テ。斯。カ。ル。點。ニ。充。分。ナ。ル。注。意。ヲ。加。ヘ。ラ。レ。各。種。ノ。暗。示。ヲ。ウ。マ。ク。利。用。サ。レ。バ。精。神。療。法。上。ニ。於。テ。偉。大。ナ。ル。効。驗。ノ。顯。ハ。ル。ベ。キ。ユ。ト。ハ。子。ガ。過。去。ノ。實。驗。ニ。徴。シ。テ。明。言。シ。テ。置。ク。次。第。デ。ア。ル。

◎神。秘。的。暗。示——ト。ハ。前。述。ノ。科。學。的。暗。示。ト。ハ。全。ク。反。對。デ。ア。ツ。テ。暗。示。ノ。根。元。ヲ。科。學。的。原。素。ニ。取。ラ。ズ。神。秘。的。即。迷。信。的。原。素。カ。ラ。取。ツ。タ。暗。示。ヲ。云。フ。ノ。デ。ア。ル。例。ヘ。バ、

「神ノ力デ此病氣ガ癒ル」トカ、或ハ「佛ノ力デ此病氣ガ癒ル」トカ、或ハ「御祈禱ノ力デ病氣ガ癒ル」トカ云フ如キ暗示ヲ云フノデアル。言語的暗示ノ場合、

然シテ此神秘的暗示モ科學的暗示ト同シク、言語的暗示、形式的暗示、自己暗示、何レニモ含マレテ居ル暗示デアツテ、

又、此種ノ暗示ガ、或ル場合ニ依リ必要ナル理由ハ、前科學的暗示説明ノ條下ニ於テ詳述シテ置イタカラ、茲ニハ喋々スル必要モ無カラウデ省畧シテ置カウ。

兎ニ角、暗示ノ種類ニ關シテハ、其數多ク、一々詳述スルコトハ出來ナイガ、概要ヲ説明スレバ、前述ノ如クデアアルカラ、其詳細ナル點ニ於テハ、前表(第二四頁参照)ニ依ツテ、讀者諸氏ノ御推察ヲ願ヒタイ次第デアアル。

○第五章 方便ノ必要并ニ其種類

精。神。療。法。ナ。ル。モ。ノ。ハ。病。者。ノ。腦。裡。ニ。治。療。的。ノ。觀。念。ヲ。畫。カ。シ。メ。其。結。果。心。身。相。關。ノ。作。用。ニ。基。イ。テ。平。癒。ニ。向。ハ。シ。ム。ル。方。法。ナ。レ。バ。理。論。上。ニ。於。テ。ハ。最。早。疑。フ。ベ。カ。ラ。ザ。ル。療。法。ニ。ハ。相。違。



無イガ果シテ術者ノ要求スルガ儘ニ治療的ノ觀念ヲ畫カ  
 セルコトガ出來ルデアラウカ否カトノ疑問ガ起ルデアラ  
 ウ併シ此疑問ニ關シテハ被術者其人ニ依ツテハ中々困難  
 ナコトト云ハチバナヲヌノデアアル何トナレバ被術者其人  
 ニ依リ種々雜多ノ心性ヲ備ヘテ居ルカラ一樣ノ方法デハ  
 行ハレ難イノデアアル然ラバ如何ナル方法ニ依ツテ斯カル  
 被術者ニ對シ目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアアラウカ他  
 無シ方便ノ利用ニ依ツテ被術者ニ一種ノ信念ヲ起サシメ  
 其結果術者ノ要求スル或ル觀念ヲ畫カセルノデアアル  
 實ニ如是方便法ガアレバヨソ比較的術者ノ思フガ儘ニ目  
 的ヲ達スルコトガ出來ルト云ツテ宜イノデアアル  
 兎ニ角前述ノ理由ニ依ツテ方便法ノ必要ナルコトハ最早

會得ガ出來タデアアラウカラ左ニ各種ノ方便并ニ其利用法  
 ニ關シテ少シク予ノ意見ヲ述ベテ見ヤウ  
 精神療法ニ於テハ被術者其人ニ依ツテ臨機應變種々ノ方  
 便ガ必要トナツテ來ルコトハ既ニ述ベタ如クデアアルが今  
 此種類ニ關シ予ノ過去ノ經驗ニ基イテ大畧區別シテ見ル  
 ト左表ノ如クニナルノデアアル併シ方便ニ附シタ名稱ノ如  
 キハ予ノ愚見ダカラ其適否ハ知ラナイノデアアル唯予ノ意  
 ノアル所ヲ推察サレシコトヲ乞フ

○方便  
 科學的方便 生理的方便  
 神秘的方便 形式的方便  
 宗教的方便

方便ノ種類ニ關シテハ前表ノ如クニ區別スルコトガ出來



無イガ果シテ術者ノ要求スルガ儘ニ治療的ノ觀念ヲ畫カ  
セルコトガ出來ルデアラウカ否カトノ疑問ガ起ルデアラ  
ウ併シ此疑問ニ關シテハ被術者其人ニ依ツテハ中々困難  
ナコトト云ハチバナヲヌノデアアル何トナレバ被術者其人  
ニ依リ種々雜多ノ心性ヲ備ヘテ居ルカラ一様ノ方法デハ  
行ハレ難イノデアアル然ラバ如何ナル方法ニ依ツテ斯カル  
被術者ニ對シ目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアラウカ他  
無シ方便ノ利用ニ依ツテ被術者ニ一種ノ信念ヲ起サシメ  
其結果術者ノ要求スル或ル觀念ヲ畫カセルノデアアル  
實ニ如是方便法ガアレバコソ比較的術者ノ思フガ儘ニ目  
的ヲ達スルコトガ出來ルト云ツテ宜イノデアアル  
兎ニ角前述ノ理由ニ依ツテ方便法ノ必要ナルコトハ最早

會得ガ出來タデアラウカラ左ニ各種ノ方便并ニ其利用法  
ニ關シテ少シク予ノ意見ヲ述ベテ見ヤウ  
精神療法ニ於テハ被術者其人ニ依ツテ臨機應變種々ノ方  
便ガ必要トナツテ來ルコトハ既ニ述ベタ如クデアアルが今  
此種類ニ關シ予ノ過去ノ經驗ニ基イテ大畧區別シテ見ル  
ト左表ノ如クニナルノデアアル併シ方便ニ附シタ名稱ノ如  
キハ予ノ愚見ダカラ其適否ハ知ラナイノデアアル唯予ノ意  
ノアル所ヲ推察サレシコトヲ乞フ

○方便  
科學的方便 (生理的方便)  
神秘的方便 (形式的方便)  
宗教的方便

方便ノ種類ニ關シテハ前表ノ如クニ區別スルコトガ出來



ルデアヲウト、思フノデアアル。今、各方便ノ種類ニ關スル予ノ

愚見ヲ述ベテ見ヤウ。  
◎科學的方便——之レハ、方便ノ根元ヲ科學的、即學術的ノ原

素カラ取ツタモノナ云フノデアアル。例ヘバ、

人身生理ノ作用トカ、心理ノ作用トカヲ説明シテ是等  
ノ作用カラ、肉體ニモ關係ヲ及ボシ、治療ニ向フモノデ  
アル。トカ、催眠スルモノデアアル。トカ云フ如キ方法ニ依  
ツテ確信ヲ促ス方便ヲ云フノデアアル。

而シテ、此科學的方便ハ、云フマデモ無ク、文明的、開明ノ者ニ  
向ツテ應用スル方便ノコトデ、換言スレバ、科學的暗示(第三  
二頁参照)ニ依ツテ被術者ヲ信用サセル方法ヲ云フノデア  
ル

◎神。秘。的。方。便。——之レハ、方便ノ根元ヲ科學的ニ取ラズ、神。秘。  
的、即迷信的ノ原素カラ取ツタ方便ヲ云フノデアアル。例ヘ  
バ、

「神ノ力デ病氣ガ癒ル。」トカ、「佛ノ力デ病氣ガ癒ル。」トカ、或  
ハ、「御祈禱若シクハ御禁厭ノ力デ病氣ガ癒ル。」トカ云フ  
如キ方法ニ依ツテ、被術者ヲ確信サセル方便ヲ云フノ  
デアアル。

即換言スレバ、神。秘。的。暗。示(第三四頁参照)ノモトニ確信ヲ促  
ス方法ヲ云フノデアアル。而シテ此神。秘。的。方。便ナルモノハ、云  
フマデモナク、宗教者、即神。秘。的。論。者ニ向ツテ、利用スル方便  
ナノデアアル。

◎科學的方便ニ屬スル生理的方便——之レハ、方便ノ根元ヲ



生理作用ノ應用ニ取ツタモノヲ云フノデアル例ヘバ、  
 醫師ナラバ藥物其物ヲ與ヘルトカ、此方便の場合ニ於  
 テハ、眞實生理作用上カラ治療ニ向フキ藥物ヲ無ク  
 テモ刺戟性ノ藥物デアレバ宜イノデアル否々眞實の  
 藥物ヲ無クテモ水デモ茶デモ何デモ宜イノデアル唯、  
 被術者ノ信念ヲ促スベキモノデアリサヘスレバ宜イ  
 ノデアアル之レガ、即方便ノ方便タル所以デアル以下ノ  
 方便皆此理ニ依ツテ悟ラレヨ。又醫師以外ナラバ、治療  
 電氣ヲ應用シテ被術者ノ身體ニ刺戟ヲ加ヘルトカ、此  
 際ニ於ケル電流ノ強弱ハ論ゼナイ唯被術者ニ信念ヲ  
 起サシムレバ宜イノデアアル。鍼灸術ヲ應用スルトカ、按  
 摩術ヲ應用スルトカ云フ如キ方法ヲ云フノデアル。

即換言シテ見ルト形式の暗示ニ屬スル科學的暗示ニ依ツ  
 テ被術者ニ信念ヲ起サセル方法ヲ云フノデアアル。

◎科學的方便ニ屬スル心理的方便——之レハ心身相關ノ原  
 理(第一四頁参照)ヲ述ベテ、心理療法即精神療法ノ顯著ナル  
 コトヲ確信サセル方法ヲ云フノデアアル。即換言スルト、言語  
 的暗示(第二九頁参照)ニ屬スル科學的暗示ニ依ツテ被術者  
 ノ信念力ヲ促ス方法ハ、即此方便ナノデアアル。

併シ、此方便ハ妄リニ用井ナイ方が却ツテ宜イノデアアル。如  
 何トナレバ、其レハ外デモ無イ、術者ニ靈妙不可思議ナル奇  
 術デモ有ルノカ、下思ヒノ外、自分ノ精神作用デアツタノカ、  
 ナド、却ツテ疑心ヲ起サセル基トナルカラデアアル。其レデ、  
 臨機應變被術者ノ心性ヲ察シテ施スベキ方便デアツテ輕



卒ニ施スユトノ出來ナイモノデアアル尙此心理的方便ニツ  
イテハ大ニ利用法ガアルガ筆頭ニハ盡セ無イカラ茲ニハ  
省畧シテ置カウ。

◎神秘的方便ニ屬スル形式的方便之レハ神秘的ニ屬ス  
ル形式的手段ヲ以テ被術者ノ信念力ヲ強盛ナラシムル方  
法ヲ云フノデアアル例ヘバ、

咒文ヲ唱ヘツツ神靈祈禱者ノ用フル神器ヲ以テ病者  
ノ局部ニ摩擦ヲ與フルガ如キ或ハ御幣之レモ神器ヲ  
病者ノ頭上ニ振りツツ被術者ノ唱フルガ如キ或ハ九字ヲ  
切ツテ疾病ノ平癒ヲ祈ルガ如キ之レハ眞言秘密中ノ  
一法デアツテ口ニハ臨兵闘者皆陣烈前在ノ九字ノ咒  
ヲ唱ヘ手ニハ獨古ノ印大金剛輪ノ印外獅子ノ印内獅子

子ノ印外縛ノ印智拳ノ印日輪放光ノ印寶瓶ノ印即九  
形ノ印ヲ結び刀印ヲ以テ五横四縦ニ切ル神秘的法術  
ヲ云フ方法ニ依ツテ被術者ニ信念力ヲ起サシムル方  
法ヲ云フノデアアル。

◎神秘的方便ニ屬スル宗教的方便之レハ被術者ニ對シ  
テ耶穌信者ヲバ耶穌的教理ヲ説クトカ或ハ佛教信者ヲ  
ラバ佛教的教理ヲ説クトカスル方法ニ依ツテ被術者ノ信  
仰心ヲ利用シ術者ノ要求スル所ノ或ル精神状態ニ變化セ  
シムル方法ヲ云フノデアアル換言スレバ言語的暗示ニ屬ス  
ル神秘的暗示ニ依ツテ被術者ニ或ル信念力ヲ起サシムル  
方便ヲ云フノデアツテ即神秘的論者ニ施スベキ方便デア  
ル。



以上述ベタル所ニ依ツテ、各種ノ方便ニ關スル説明ハ會得ガ出來タデアラウガ、之レヲ要スルニ方便ナルモノハ、臨機應變人ヲ見テ法ヲ説ク。ト云フ手段ニハ相違無イガ、若シ斯カル方便ノ利用法ニ熟練サレタラバ、其治療上ニ於テ偉大ナル効驗ノ顯ルベキコトガ信ゼラレルデアラウ。

○第六章 暗示施行ノ順序

暗示ノ種類ニ關シテハ、既ニ述ベタ如ク、實ニ數多クアルガ、中ニモ殊ニ多ク用ヰ子バナラヌ。暗示ハ術者ノ言語ニ依ツテ發スル暗示、即言語的暗示ト云ハ子バナラヌ。然シテ、此言

語的暗示ヲ與フルニハ順序ガアツテ、最初カラ如何ナル暗示ヲ與ヘテモ感應スルト云フモノデハ無イノデアアル。然レニ此ノ原理ヲ悟ラズシテ、最初カラ突飛的ナ暗示即チ順序無キ暗示ヲ與ヘンカ、必ラズ其奏効結果ヲ見ルト云フコトハ至極稀レナコトデ、誰ヲモ感應サセルト云フコトハ、到底出來無イコトト云ハ子バナラヌノデアアル。然ラバ、其ノ順序トハ如何ナルモノカト云フニ、予ハ次ノ如ク述ベタイノデアアル。

暗示ハ順序正シク、漸々のニ進マ子バナラヌ。迅速的デハ奏効ヲ見ルコトガ少ナイノデアアル。

漸々のトハ文字ノ示ス如ク、漸々ト低度ノ暗示ヨリ高度ノ暗示ニ進ムコトヲ云フノデアアル。



迅速のトハ漸々の順序ヲ踏マズ一足飛ビニ低度ノ暗示ヨリ高度ノ暗示ニ進ムコトヲ云フノデアアル。

今此順序ニ關シテ例ヘテ見ルト、

「蛞蝓」ノ如ク遅々漸々ト進ンデ行ク暗示ハ漸々の暗示デアツテ、

「蚤」ノ如ク一足飛ビニ進ンデ行ク暗示ハ迅速的ノ暗示ト云フノデアアル。

併シ漸々のト云ヒ迅速的ト云フノモ施術中ニ於ケル時間ノ長短ヲ指シテ云ツタノデハ無イ唯暗示ノ進メ方ニツイテ形容シタマデノコトデアアル。換言シテ見ルト暗示ヲ與フニハ各其レニ適當シタ時機ガ有ルカラ其時機ニ於テ適當シタル暗示ヲ與ヘヨ決シテ其時機ニ適當セナイ暗示ヲ與

ヘナト云フコトニナルデアアル。

然ラバ其時機トハ如何ナル時ヲ指シテ云フノデアアラウカトノ疑問ガ起ルデアラウ併シ此時機ナルモノハ經驗ノ結果悟リ得ル所ノモノデ容易ニ説明ナドスト云フコトハ出來無イガ兎ニ角次ノ理由ニ依ツテ其時機ヲ察シテ貰ヒタインデアアル。

「被術者」ノ心身状態如何ニ依ツテ術者ノ暗示ニ對スル感應ノ度ニ強弱ガアルコト。

「感應」ノ度薄弱ナル者モ順序アル暗示ニ依ツテ漸々其度ヲ強ムルコトガ出來ル。

右ノ理由ニ依ツテ第一ニ被術者ノ心身ノ状態即精神療法ニ對スル被術者ノ心身ノ關係如何ト云フコトヲ觀察ノ後



此被術者ヲラバ此暗示ニハ感應スルデアラウト思フ所ノ適當ナル暗示即低度ノ暗示ヲ試ミテ此感應ノ結果如何ニ依ツテ其時機ヲ察シ從ツテ其時機ニ適當ナル暗示ヲ選ンデ貰ヒタイノデアアル。之ヲ要スルニ暗示ノ順序ヲ踏ムトハ被術者ノ心身ノ状態如何ヲ察シ之ニ適當ナル暗示ヲ與ヘツ進ンデ行クコトヲ云フデアアル而シテ適當ナル暗示トハ被術者ノ暗示感應ノ強弱ヲ察シ其程度ニ適當シタル暗示ヲ云フデアアル。

○第七章 施術前ノ注意

精神療法ヲ施ス前ニ當ツテハ必ズ準備的注意ヲセテバナ

ラヌ。若シ此注意ヲ缺ク場合ニハ充分ナル奏効結果ヲ見ルト云フコトハ出來無イノデアアル。併シ無催眠療法ヲ施ス場合ニハ斯クマデ注意ヲ加フベキ必要モ無イガ催眠術療法ノ場合ニ於テハ是非共此等ノ注意ヲ加ヘテ貰ヒタイノデアアル。初學者ノ場合ニハ殊ニ然リデアアル。今左ニ其注意事項トモ云フベキモノヲ列擧シテ見ヤウ。

〔第一〕被術者ヲ信用サセルコト

之レハ無催眠療法催眠術療法何レノ場合ニモ必要ナル注意デアツテ又被術者ヲ信用サセルニハ次ノ三項ニ注意ヲ加ヘテ貰ヒタイノデアアル。  
(イ)被術者ノ信仰心ヲ探知シテ之レニ適當ナル方便及



ビ、暗示ヲ利用スルコト。  
(ロ) 催眠術ノ無害安全ナルコトヲ信用サセラルコト。

之レハ、無催眠療法ノ場合ニハ必要デモ無イガ、催眠療法ノ場合ニハ、是非共、此注意ヲ加ヘテ貰ヒタイノデアアル。若シ、然ラザル場合ニハ、被術者ノ警戒心ノ爲メ、完全ナル催眠状態第ニ導クコトハ出来ナイノデアアル。

(ハ) 術者ノ道德心ヲ信用サセラルコト。

之レモ、無催眠療法ノ場合ニハ、アマリ必要デモ無イガ、催眠療法ノ場合ニハ、被術者ニシテ、術者ノ道德心如何ヲ疑ヒ、催眠後何か悪事デモセチバ宜イガトノ警戒心ノ爲メ、完全ナル催眠状態ニ導クコトノ出

来ナイ場合ガアルカラ、是非共、被術者ニ對スル安全策トシテ、此注意ヲ加ヘテ貰ヒタイノデアアル。

〔第二〕術者ノ自信スベキコト。

施術ニ先ダツテ、術者ノ自信スベキコトハ、無催眠療法催眠療法何レノ場合ニモ必要ナコトデアアル。

若シ、術者ニシテ、自信セズ、半信半疑デ、施術センカ、必ず被術者ニ感應ヲ與ヘルト云フコトハ出来ナイノデアアル。何トナレバ、術者ニ自信スルコトガアツテコソ、其與フル方便ト云ヒ、形式的手段ト云ヒ、眞實のニ行ヘルノデアアル。其レニ、半信半疑デ、被術者ニ向ヘバ、其與フル暗示ト云ヒ、形式的手段ト云ヒ、皆、半信半疑的デ、到底被術者ヲ感應サセント云フコトハ出来ナイカラデアアル。其



レデ、施術前ノ注意トシテハ、之レ又、必要ナコトト云ハ  
チバナヲヌノデアル。

〔第三〕施術室ヲ閑静ナル場所ニ選ブベキコト、

無催眠療法ノ場合、若シクハ、斯術ニ熟達ノ後ナラバ、ア  
マリ、必要デモ無イガ、初學者ニ於テハ、是非共、此注意ヲ  
加ヘテ賞ヒタイノデアル。何トナレバ、外圍ヨリ受クル、  
聽覺的刺戟、人聲、動物ノ鳴聲、其他種々ノ音響ヲ受クル  
結果、施術上ニ妨害ヲ生ジ、被術者ヲシテ完全ナル催眠  
状態ニ導クコトガ出来ナイ場合ガアルカラデアル。

〔第四〕室内ニハ、注意散亂ノ虞アルベキモノヲ除クコト、

無催眠療法ノ場合ニハ、アマリ、必要デモ無イガ、催眠術  
療法ノ場合ニハ、之レ又、必要ナ注意ト云ハチバナヲヌ。

何トナレバ、此注意ヲ缺キタル結果、被術者ノ注意ヲ散  
亂セシメ、其結果、完全ナル催眠状態ニ導クコトガ出来  
ナイ場合ガアルカラデアル。

〔第五〕室内ニハ、妄リニ、他人ヲ入レヌコト、

之レハ、無催眠療法ノ場合ニハ、必要デモ無イガ、催眠術  
療法ノ場合ニハ、之レ又、注意ヲ加フベキ一ツデアル。何  
トナレバ、被術者ノ中ニハ、自分ノ催眠状態ヲ術者以外  
ノ者ニ見ラルルコトヲ厭フ者ガアル。其レハ、外デモ無  
イガ、萬一醜體ヲ表ハシタ場合ニ他人ニ笑ハレハスマ  
イカ、トノ警戒心ガアルカラデアル。殊ニ婦女子ニハ此  
例ガ多イノデアル。

併シ、被術者其人ニ依ツテハ、術者一人ヨリモ、他人ノ居



ルコトニ却ツテ安心シ、施術ヲ受クル者ガアル。斯カル  
場合ニ於テハ、前述ノ限リデハ無イ、臨機應變ノ所置ヲ  
取ルノガ宜イノデアアル。

〔第六〕四季ニ於ケル注意

之レハ、温度ノ調和、ト虫類蚊及ビ蠅ノ類ノ來襲トニ注  
意ヲ加フレバ宜イノデアアル。若シ此注意ヲ缺ク場合ニ  
ハ、春秋二季ニ於テハ、殊更心配ノ必要モ無イガ、夏冬ノ  
二季ニ於テハ、不成效ノ原因トナルコトガアル。併シ、無  
催眠療法ノ場合ニハ、アマリ、必要デモ無イノデアアル。

〔第七〕被術者ニ安全ナル位置ヲ取ラセルコト

之レハ、外デモ無イ、被術者ニ窮屈ナ位置ヲ取ラセテハ、  
之レガ爲メニ、注意ヲ奪ハレテ、成効ガナイ場合ガアル

カラデアアル。

〔第八〕施術前ニ於ケル被術者ノ精神状態ヲ探知スルコト

左ノ場合ニハ、施術スルトモ、決シテ成効ヲ見ルト云フ  
コトハ出来ナイノデアアル。之レ又、注意ヲ加フベキ一ツ  
デアアル。

(イ) 斯術ニ對シテ疑心ノアル場合、

(ロ) 斯術ニ對シテ研究心ノアル場合、

(ハ) 感情ノ過度ニ激シタル場合、

〔第九〕被術者ニ強烈ナル希望心ノ起ル時ヲ俟ツテ施術ス  
ルコト

他人ニ精神療法ヲ勸メラレテ、試ミニ、施術ヲ受ケテ見  
ヤウカ。位ナ、希望心デハ、或ハ、不成效ニ終ルカモ知レナ



イノデアアル。其レデ充分ニ精神療法ノ効驗ヲ説キ、斯カ  
ル効驗アル療法ナラバ、早ク施術ヲ受ケテ見タイ。トノ  
強烈ナル希望心ヲ起サシメ、然ル後、施術ヲスレバ、百人  
ガ百人マデ成效スベキコトハ、予ガ實驗ニ照シテ斷言  
シテ置ク次第デアアル。  
然ラバ、如何ナル方法ニ依ツテ、強烈ナル希望心ヲ起サ  
シムルヤト云フニ、外デハ無イ、予ガ既ニ詳述シテ置イ  
タ、方便及ビ暗示ノ種類ヲ利用スレバ、宜イデアアル。諸  
氏希クハ、充分御研究アレ。  
兎ニ角、施術前ノ注意トシテハ、前述ノ如クデアアルガ、斯術  
ノ妙域ニ達スレバ、斯クマデ、諸方面ニ注意ヲ加ヘ無クテモ、  
其ヤリ方一ツデ、目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアアル併シ

初學者ノ場合ニハ、是非共此ノ如キ諸方面ニ注<sup>○</sup>チ加<sup>○</sup>ヘ無<sup>○</sup>  
ケ<sup>○</sup>レバ、或ハ其結果、目的ヲ達シカ子、折角ノ研究心モ、挫折ニ  
終ルカモ知レ無イノデアアル。其レデ、初學者ノ時分ニハ、充分  
ナル御注意ヲ加ヘテ、貫ヒタイ次第デアアル。  
尙此注意事項ニ關シテハ、拙者、實驗<sup>○</sup>。理治療法、催眠術編<sup>○</sup>（東  
京、青木嵩山堂發行）第三章第五節ニ於テ、詳述シテ置イタガ  
ヲ、御参照アラシムコトヲ乞フ。

○第八章 無催眠療法

○第一節 無催眠療法ノ順序

既ニ詳述スル所ニ依ツテ、無催眠療法トハ、如何ナル性質ノ  
モノデアアルカハ、會得ガ出來タデアアラウ。從ツテ、其方法ノ如



キモ、既ニ推察スルコトが出来タデアラウガ、今讀者諸氏ヘノ参考ノ爲メニ、予ガ實驗上ヨリ得タル方法ノ要領ヲ示シテ、之レニ愚見ヲ添ヘテ見ヤウ。

〔第二〕堅固不屈ナ自信ヲ以テ、施術スベキコト、

術者ニ自信力ノ必要ナコトハ、前述ノ注意事項第二、第五〇頁参照ニ依ツテ、明瞭ダラウカラ、茲ニハ、之レヲ省畧シテ置カウ。

〔第二〕施術ノ準備的方法トシテ、方便の利用ヲ爲スコト、

被術者ヲ確信セシムルト云フコトハ、精神療法ノ主眼トスル所ナレバ、從ツテ、此方法ガ必要トナツテ來ルノデアアル。第五章方便法ノ條下参照

〔第三〕被術者ニ瞑目サセルコト、

之レハ、外デモ無イ、被術者ノ精神作用ガ多方面ニ散亂シテハ、治療上ノ妨害トナルカラデアアル。例ヘバ、此術者ノ鼻ハ低イ。トカ、此術者ノ顔色ハ黒イ。トカ、此向フニ猫ガ遊ンデ居ル。トカ、種々雜多ノ目ニ入ルモノニツケテ、雜念ガ起ツテ來ルノデアアル。此雜念ガ施術ニハ、最も禁物ナノデアツテ、此雜念ガ有レバ、有ル程、奏効結果ヲ見ルコトガ出來無イノデアアル。其レデ言ヒ換ヘテ見ルト、雜念ヲ防グタメノ準備ト云ツテ宜イノデアアル。

〔第四〕刺戟の方便ヲ與ヘツテ、漸々の暗示ヲ與フルコト、

之レハ、單ニ、言語的暗示ダケデモ宜イガ、刺戟の方便ニ依ツテ、筋肉ニ與フル刺戟ガ、大ニ被術者ヲ信用サセルカラデアアル。(第四〇頁参照)



〔第五〕施術暫時ノ後、疑問的暗示ヲ與フルコト、

此疑問的暗示ナルモノハ、施術其上ヨリ云ヘバ、大ニ忌マ子バナラヌ。暗示デアル。暗示ハ必ズ注入的、即命令的ノモノデ無ケレバナラヌ。然ルニ、疑問的ノ暗示、即相談的ノ暗示ヲ試ムルノハ、何故カト云フニ、外デハ無イ、施術暫時ノ後、自心ニ於テハ、最早奏効シテ居ルニハ相違無カラウトハ信シテ居ツテモ、其奏効如何ハ容易ニ知レルモノデハ無イノデアル。夫レニ若シ輕々シク、

「オ前ノ病氣ハ癒ツテ仕舞ツタ、最早痛ミハアリマセシ。」トノ如キ、暗示ヲ與ヘンカ、其際若シ被術者ノ痛ミガ癒ツテ居レバ宜イガ、若シ癒ツテ居ラ無ツタ場合ニハ、術

〔第六〕施術後殘續暗示ヲ與ヘ置クコト、

者ハ「最早癒ツタ」ト云ツテモ、マダ痛ミガアル癒ツテハ居ラヌ。ト云フヤウデアツテハ、大ニ術者ヲ疑ハセ、治療上ノ妨害トナルカラデアアル。ソレデ、施術暫時ノ後、被術者ニ對スル感應ノ度、合如何ヲ調査スル必要ガ起ツテ來ルノデアアル。從ツテ、此疑問的暗示ヲ試ミ、感應ノ強弱如何ニ依ツテ、臨機應變ノ所置ヲ取ルノデアアル。乞フ、次節ニ述ベントスル、予ノ實施摸範例ニ依ツテ、悟ラレンコトナ。

被術者ガ確信スルモ、其結果、肉體ニマデ變化ナ及ボシ、全癒セシムルト云フマデニハ、多少ノ時間ヲ要セザバナラヌノデアアル。換言スルト、被術者ヲシテ、治療的ノ觀



念ヲ盡カセテモ、其結果忽チ癒ルト云フヤウナ早業ニ  
ハ行カナインデアアル。必ズ或ル時期ヲ俟タ子バナラヌ  
ノデアアル。併シ頭痛、腹痛、齒痛ナドノ疼痛感ニ對スル治  
療ナラバ、其場デ奏効サヘスレバ、殊更殘續暗示(第二八  
頁参照)ヲ與ヘテ置ク必要モ無イガソレデモ、被術者其  
人ニ依ツテハ、施術後再發スルコトモアルノデアアル。況  
ンヤ、肺病、胃病ナドノ如キ病症ニ至ツテハ、必ズ施術中  
若シクバ、施術後ニ於テ、殊ニ殘續暗示ヲ與ヘテ置ク必  
要ガアルノデアアル。之レ即、外デハ無イ術者ノ殘續暗示  
ニ依ツテ、施術後被術者ニ自己暗示(第三〇頁参照)ヲ起  
サシメ、其結果被術者ノ治療的觀念ヲ永久的ニ保存セ  
シメ、其結果病症ニ向ツテ、漸々のニ奏効ガサセタイノ

デアアル。然シテ、此殘續暗示ヲ與ヘタ結果ト、與ヘザルル  
結果トハ、其奏効上ニ顯著ナル差違ノ生ズルコトハ、予  
ノ實驗ガ證明シテ居ルノデアアル。  
併シ、此殘續暗示ヲ與ヘルニハ、言語的暗示ヲ與ヘルヨ  
リモ、何かノ形式的方法ヲ教ヘ此形式的方法ニ依ツテ、  
自己暗示ヲ起サセルヤウニ、シタイノデアアル。然シテ、此  
形式的方法ノ教ヘ方ニツイテハ、前述ノ方便欄(第三五  
頁参照)ヲ参照シテ、臨機應變ノ所置ヲ取ラレタイノデ  
アル。

○第二節 無催眠療法實施摸範例

無催眠療法ノ順序ニ關シテハ、前節ニ於テ詳述シテ置イタ



カラ、既ニ會得ガ出來タデアラウカラ、左ニ予ノ實施摸範例ヲ示シテ、諸氏ヘノ參考ニ供シテ見ヤウ。

被術者、先生、私ハ二三日前カラ、腹痛デ困ツテ居ッタノデスガ、今日隣デ聞ケバ、先生ガ不思議ノ法デ病氣ヲ癒シテ下サルト云フコトヲ聞イタノデ、オ邪魔ニ來タノデスガ、癒シテ下サルノデセウカ。

術者、ソラ易イユトデス、癒シテ上ゲマセウ。

之レガ方便の挨拶ノ仕方デアル。若シ此場合ニ於テ、サア、其病氣ガ癒ルカ知ラント、疑問的ノ挨拶ナスルヤウデハ、被術者ニ疑心ヲ起サセル原因トナルノデアル。術者タルモノハ、些細ナコトニデモ充分注意ヲ加ヘテ貰ヒタイノデアル。

被術者、私ノ腹痛ハ、餘程重イ様デスカラ、到底一度ヤ、二度位デハ、癒リマスマイ子。

術者、何チ云ヒナサル、腹痛位ナユトデナイ。餘程重イ病氣デモ一度デ癒ッタコトガ毎度アリマスカラ子。  
之レ、被術者ニ病氣ニ對スル疑心ヲ去ラシムル爲メノ方便の挨拶デアル。

被術者、サウデスカ、不思議ナ法デス子。ソレデハ、ドウカ、オ願ヒ申マス。

術者、宜シイ、承知シマシタ。併シ、貴方ハ餘程御信心ナナルサウデスガ、何様ヲオ祭リニナリマスカ。  
之レハ、被術者ヲ神秘的論者ト悟ツテ、神秘的方便ヲ用井ンタメ信仰心ヲ尋チタノデアル。



被術者、ハイ、私ハ弘法大師ヲ信仰シテ居リマス。」

術者「アラサウデスカ。私ノ此法ト云フノモ、昔、弘法様が、オ

授ケニナツタ法ダサウデス、不思議デス子、之レモ平

素御信心ヲナサルカラ、弘法様ノ引合セデセウ。」

(之レ、被術者ノ信念方ヲ促スタメノ神秘的方便デア

ル。)

被術者「アラ、サウデスカ。弘法様ノ御法ナラバ、病氣モ癒ルデ

セウ。」

術者「ソレデハ、一ツオ禁厭ヲシテ上ゲマセウ。」

(之レモ、神秘的方便デアアル。)

被術者「ハイ有リ難ウ。」

術者茲ニ於テ、九字ヲ切り印ヲ結ビ、形式的方便ヲ示シ、然シ

テ後、眼目ヲサセルノデアアル。(眼目ノ理由第四三頁参照。次ニ、手  
學ヲ以テ、腹部ニ刺戟ヲ加ヘツツ、左ノ如ク暗示ヲ與ヘルノ  
デアアル。)

術者「少シ癒ツタデセウ。」

(之レハ、漸々の暗示デアアル。少シ癒ツタデセウ。トノ

意義ヲ充分味ハツテ吳レ玉ヘ。)

被術者「ハイ、少シ癒ツタヤウデス。」

(之レハ、被術者ニ於ケル感應ノ度合ヲ示シタモノデ

アル。若シ此場合ニ於テ、何等ノ感應モ無ツタ時ハ、術

者タル者ハ、妄リニ暗示ヲ進メテハナラヌノデアアル。)

術者「サウデセウ。今漸々ト癒ツテ來マス。」

術者「ドウデスカ。大分癒ツテ來タデセウ。」



被術者、ハイ、大分癒ツテ來マシタ。不思議デス子。」

(之レ被術者ニ漸々の感應ヲ與ヘテ居ルノデアル)。

術者、ドウデスカ。又、少シ癒ツテ來タデセウ。」

被術者、ハイ、大分癒ツテ來マシタ。不思議デス子。」

(之レモ同シク被術者ニ對シ、漸々の感應ヲ與ヘテ

居ルノデアル)。

術者、ドウデスカ。又、少シ癒ツテ來タデセウ。」

被術者、ハイ、又、大分違ツテ來マシタ。」

茲ニ於テ術者心力ヲ集注シ、暫時刺戟ヲ與ヘタ後、左ノ如ク

暗示ヲ與ヘルノデアル。

術者、最早、大概ハ癒ツテ來タデセウ。一度、腹ヲ抑ヘテ、痛ミ

ガアルカ、調ベテ見ナサイ。若シ痛ミガ、アルヤウナラ

バ、痛ミガ癒ルマデ、シテ上ゲマセウ。」

(之レ即疑問的暗示ヲ與ヘタノデアル。(第六〇頁参照)。

被術者、大概ハ、癒ツタヤウデスカ。此處ガ少シ痛ミマス。」

術者、サウデスカ。其レデハ、其痛ミヲ癒シテ上ゲマセウ。」

又、例ノ如ク、暫時刺戟ヲ與ヘタ後、左ノ如ク暗示ヲ與ヘルノ

デアル。

術者、ドウデスカ。癒ツテ仕舞ツタデセウ。モ一度調ベテ見

ナサイ。」

被術者、ハイ、癒ツテ仕舞ツタデス。有リ難ウ存シマス。」

術者、ソレハ宜シカツタ。癒ツタ以上ハ、決シテ起ルヤウナ

コトハ有リマセンカラ、安心ナサイ。之レハ弘法様ノ

御法デスカウ、オ疑ヒナサルナ。」



之レ即前ニ述ベタ、殘續暗示ヲ與ヘタノデアアル、此理由ハ第六二頁参照。  
被術者、ハイ、決シテ疑ヒマセヌ。大ニ有リ難ク存シマス。サヨナラ。

右摸範例ハ神秘的論者ト悟ツテ、神秘的方便ニ依リ施術ノ摸樣ヲ示シタモノデアアル。  
併シ、科學的病者ニ對シテハ、科學的方便ヲ取り、神秘的病者ニ對シテハ、神秘的方便ノ取りタイト云フコトハ、予ノ精神療法ニ於ケル極意トモ云フベキモノダガ、實地ニ當ツテ、此方便ヲ利用スルト云フコトハ、中々困難ナ業ト云ハチバナヲヌ。何トナレバ、其方便ノ利用法ヤ、又暗示ノ與ヘ方ナドニ至ツテハ、被術者其人ニ依ツテ、千變萬化デ、一定不變ノモノ

デハ無イノデアアル。然ルニ、之レニ反シテ、一定不變ヲ始終一貫誰ニデモ施サシカ、甲ニハ奏効シタガ乙ニハ奏効セナイ。ト云フ歎ガ生ズルノデアアル。試ニ思ヘ、彼ノ一定不變ノ形式ニノミ、重キヲ置イテ居ル、神秘的禁厭者ノ施術ニ於ケル奏効結果ヲ見テモ知ルベシデアアル。  
ソレデ、誰ニデモ奏効サセルト云フ妙域ニ至ルニハ、余程ノ工夫ト、經驗トヲ積ンデ、方便并ニ暗示ノ利用ヲ、ウマクヤラチバナラヌノデアアル。  
若シ、讀者ニシテ此方法ニ熟達サレバ、神官僧侶ナラバ、祈禱禁厭ノ上ニ應用スルコトガ出來ル。又、醫師ナラバ、醫療上ニ應用スルコトガ出來ルノデアアル。其他、鍼術治療、電氣治療、按摩治療、ナド總テ、治療ヲ目的トセル方法ニハ、充分應用ヲ爲



之レ即前ニ述ベタ、殘續暗示ヲ與ヘタノデアアル、此理由ハ第六二頁參照。

被術者、ハイ、決シテ疑ヒマセヌ。大ニ有リ難ク存ジマス。サヨナラ。

右摸範例ハ神秘的論者ト悟ツテ、神秘的方便ニ依リ施術ノ摸樣ヲ示シタモノデアアル。  
併シ、科學的病者ニ對シテハ、科學的方便ヲ取リ、神秘的病者ニ對シテハ、神秘的方便ノ取リタイト云フコトハ、予ノ精神療法ニ於ケル極意トモ云フベキモノダガ、實地ニ當ツテ、此方便ヲ利用スルト云フコトハ、中々困難ナ業ト云ハチバナラヌ。何トナレバ、其方便ノ利用法ヤ、又暗示ノ與ヘ方ナドニ至ツテハ、被術者其人ニ依ツテ、千變萬化デ、一定不變ノモノ

デハ無イノデアアル。然ルニ、之レニ反シテ、一定不變ノ方法ヲ始終一貫誰ニデモ施サシカ、甲ニハ奏効シタガ乙ニハ奏効セナイ。ト云フ歎ガ生ズルノデアアル。試ニ思ヘ、彼ノ一定不變ノ形式ニノミ、重キヲ置イテ居ル、神秘的禁厭者ノ施術ニ於ケル奏効結果ヲ見テモ知ルベシデアアル。

ソレデ、誰ニデモ奏効サセルト云フ妙域ニ至ルニハ、余程ノ工夫ト、經驗トヲ積ンデ、方便并ニ暗示ノ利用ヲ、ウマクヤラチバナラヌノデアアル。

若シ、讀者ニシテ此方法ニ熟達サレバ、神官僧侶ナラバ、祈禱禁厭ノ上ニ應用スルコトガ出來ル。又、醫師ナラバ、醫療上ニ應用スルコトガ出來ルノデアアル。其他、鍼術治療、電氣治療、按摩治療、ナド總テ、治療ヲ目的トセル方法ニハ、充分應用ヲ爲



シ、多大ノ効果ヲ得ルコトガ出來ルノデアアル。如何ニ禁厭法ニ暗クトモ、鍼術ヲ知ラズトモ、按腹ノ術ヲ知ラズトモ、之レヲ應用サヘスレバ、治療上ニ奏効爲サシムルコトハ、予ノ實驗ニ照ラシテ斷言スルコトガ出來ルノデアアル。  
諸氏希クハ充分ノ御研究アツテ、諸種ノ療法上ニ應用サレシコトヲ乞フ。

第九章 催眠術療法

第一節 催眠術ニ於ケル生理的原理

精神療法ノ主眼トスベキ原理ハ、心理作用即精神作用ニアルト云フコトハ、前述(第一章参照)ニ依ツテ會得ガ出來タデアラウ。併シ、催眠術ノ場合ニ於テハ、此心理的原理ノ外ニ、尙

ホ生理的原理トモ云フベキモノガアルノデアアル。換言スルト、催眠術ナルモノハ、心理的原理、生理的原理ノ二種原理ノモトニ生ズル現象ト云ツテ宜イノデアアル。  
然ラバ、其生理的原理トハ、如何ナルモノカニツイテ少シク述ベテ見ヤウ。

扱其種類ニハ次ノ如キモノガアル。

- 一、感覺機官ノ刺戟作用、二、感覺機官ノ刺戟減弱作用、三、筋肉ノ動搖作用、四、腦ノ貧血作用、五、倦怠作用、六、注意凝集作用等。

今、右各種ノ原理ニ關シテ其説明ヲ下シテ見ヤウ。

- 一、感覺機官ノ刺戟作用——之レニハ、次ノ如キ「視感」ノ刺戟作用、「聽感」ノ刺戟作用、「觸感」ノ刺戟作用ヲドガアル。



◎視感ノ刺戟作用トハ、視感ニ刺戟ヲ加ヘ、視感神經ヲ疲勞サセルニ依ツテ、睡眠ニ向ハシムル作用ヲ云フノデアル。彼ノ夜間睡眠ノ出來ヌ時ノ睡眠法トシテ、燈火ヲ凝視スル方法ノ如キハ、之レニ屬スルノデア。又、凝視的催眠法ノ如キモ、此作用ニ依ツテ生ズルモノト云ツテ宜イノデアル。

◎聽感ノ刺戟作用レハ、單調不變ノ音響ニ依ツテ、聽神經ニ刺戟ヲ加ヘ、以テ睡眠ニ向ハシムル方法ヲ云フノデアル。彼ノ子供ヲ眠ラセル時ノ子守歌ノ如キハ、此作用ノ證明ト云ツテ宜イノデアル。又、汽車中睡眠者ノ多キモ、轟々タル音響ノ然ラシムル結果ナラシムルカ、併シ、此場合ニハ、動搖作用ナドモ、一ツノ原因ニハ相違ナ

イガ、是レ又、一ツノ引證ト見テ宜イノデアル。

◎觸感ノ刺戟作用レハ、觸感ノ刺戟ニ依ツテ、睡眠ニ向ハシムル作用ヲ云フノデアル。彼ノ按摩師ヨリ按摩ヲ受クル場合ノ如キ、睡眠ノ生ズルハ、此作用ニ基クノデア。又、子供ヲ眠ラセル場合ニトントト、輕ク叩ク。如キハ、又之レニ類スルノデア。又、催眠方法ニ於ケル摩擦法ノ如キモ、無論之レガ應用ト云ツテ宜イノデア。

二、感覺機官ノ刺戟減弱作用レハ、刺戟減弱ノ結果、睡眠ニ向ハシムル作用ヲ云フノデア。

彼ノ喧騒ナル場所ヨリ靜ナル場所ニ入りタル時ノ如キハ、自然睡眠ノ生ズルモノデア。



又、晝寢スルニ當ツテ覆面スルノ睡眠シ易キガ如ク、又、夜中燈火ノアル所ヨリモ暗キ場所ノ却ツテ睡眠シ易キガ如キモ、是レニ屬スルモノト云ツテ宜イノデアアル。又、散髮師ニ眉毛ヲ剃ラルル場合、閉目スルニ及ンデ、睡氣ノ生シ易キハ誰人モ經驗上アルコトナルガ、是レ皆同一原因ニ歸スルモノデアアル。

「三」筋肉ノ動搖作用。之レハ筋肉ニ單調ナ運動ヲ加ヘルコトニ依ツテ、睡眠ニ向ハシムル作用ヲ云フノデアアル。子供ヲ寢網ニ入レテ靜ニ動搖サセル場合ノ如キ、或ハ、子供ヲ抱イテ前後左右ニ動搖サセル場合ノ如キハ、容易ニ睡眠ニ向フモノデアアル。又、腕車若シクハ、汽車ニ乗ツテ睡眠ノ生シ易キガ如キハ、次ニ述ブル倦態作用、及

其他ノ作用モ加ハツテ居ルニハ相違無イガ、又、是レニ原因スルモノト云ツテ宜イノデアアル。

「四」腦ノ貧血作用。之レハ腦ニ於ケル貧血作用ガ一ツノ原因トナツテ、睡眠ニ向フ作用ヲ云フノデアアル。彼ノ食後若シクハ入浴後ニ睡眠ノ生シ易キガ如キ、或ハ、寒時暖爐デ足ヲ暖ムル場合ノ如キ睡眠ノ生シ易キハ此作用ニ原因スルモノト云ツテ宜イノデアアル。

予ハ催眠術ノ實驗上ヨリ多血性ノ者ヨリ貧血性ノ者ガ却ツテ、催眠シ易キヤウニ感シテ居ルノデアアル。之レ又、同一原因ニ歸スルノデアアラウ。

「五」倦態作用。之レハ精神ノ倦態スルニ依ツテ、睡氣ノ生スル作用ヲ云フノデアアル。彼ノ下手ナ説教師ノ説教ニ



於ケルガ如キ、若シクハ、下手ナ教授者ノ教授ニ於ケルガ如キ、聽者ヲシテ睡眠ヲ催サセルコトノ多イノハ、結局此作用ニ歸スルモノト云ツテ宜イノデアル。而シテ此作用ノ生ズルニハ、視感ヨリ來ルコトモアル。聽感ヨリ來ルコトモアル。又、觸感ヨリ來ルコトモアル。從ツテ此作用ト云フノモ、原因ハ、感覺機官ノ刺戟ヨリ來ルコトガ多イノデアル。彼ノ理髮師ヨリ理髮ヲ受クル場合ノ如キ睡眠ニ向ヒ易キハ、一定不變ナル、缺音が聽感ニ刺戟ヲ與ヘ、櫛ノ間斷無キ接觸ガ觸感ニ刺戟ヲ與ヘル等ニ依ツテ、遂ニ倦懣作用ヲ生シ睡眠ニ向ハシムルニ相違無イノデアル。故ニ此作用ハ、諸種ノ原因ヨリ生ズルモノト云ツテ宜イノデアル。

「六」注意凝集作用——之レハ、注意凝集ノ結果遂ニ睡眠ニ入

ルノ作用ヲ云フノデアル。彼ノ學生ガ困難ナル數學問題ヲ解セントシテ、注意凝集ノ結果知ラズ識ラズノ間ニ、睡眠ニ入ルガ如キハ、此作用ニ原因スルモノト云ツテ宜イノデアル。

實ニ生理的原理ニ關シテハ、前述ノ如クデハアルガ、併シ、生理的原理ナルモノハ、一ツノ補助的原理ニ過ギナイノデアツテ、此ノ原因ノミデハ、普通ノ睡眠状態(夜間ニ於ケル睡眠ト同状態ノモノ)。ニナラバ導クコトハ出來ルガ、催眠術ニ要スル催眠状態ニハ導クコトガ出來ナイノデアル。唯、此ノ原理ヲ利用シテ、心理的催眠ヲ補助スルマデニ過ギナイノデアル。從ツテ、催眠術ニ於テハ、心理的原理ヲ主眼



原理ト云ヒ、生理的原理ヲ補助的原理ト云ツテ宜イノデア  
ル。  
然シテ催眠方法ニハ、術者其人ニ依ツテ、心理的ニ偏スルモ  
ノト、生理的ニ偏スルモノトガ生ズルノデアアル。即、心理的ニ  
偏シタル方法ヲ心理的催眠法ト云ヒ、生理的ニ偏シタル方  
法ヲ生理的催眠法ト云フノデアアル。  
之ヲ生理的催眠法ト云フノデアアル。ハ、一ツノ補助的原理  
ニハ、相違無イガ此原理ヲ利用シテ、心理的催眠ヲ生ゼシム  
ルモノデアルカラ、之レ又、必要ナル原理ト云ツテ宜イノデア  
アル。

○第二節 催眠方法

茲ニ催眠方法ヲ紹介スルニ當ツテ諸氏ヘノ参考マデニ、予  
ノ催眠方法ニ對スル述懐ヲ先ニシ、次ニ、方法ノ詳細ヲ述ベ  
テ見ヤウ。

〔イ〕催眠方法ニ對スル予ノ述懐

予ハ斯術研究ノ最初、應用催眠術自在、(竹内楠三氏著)ト云フ書  
ヲ讀ンダコトガアル。其書中ニ獨逸ニ於ケル催眠術ノ大家  
「アルベルト、モール」氏ノ行ツタ、四ツノ模範例ガ紹介シテア  
ル。予ハ其模範例ノ其儘ヲ擧ゲテ、之レニ對スル予ノ述懐ヲ  
述ベテ見ヤウ。

〔第一例〕余(モール氏)ハ二十歳ノ青年ニ催眠術ノ試験ヲ施



シタコトガアル。先ツ其青年ヲ椅子ニカケサセテ、一個ノ扣鈕ヲ與ヘテ其レヲ「シツカリ見詰」メテ居ルヤウニ命シタ。其青年ハ三分間其レヲ見詰メテ居ツタガ上眼臉ハ段々ト下ツテ來テ、終ニ堅ク眼ヲ閉ヂテシマツタ。自分デ、眼ヲ開カウトスルケレドモ、ドウシテモ開ケナイ。又、此レマデ、扣鈕ヲ持ツテ居ツタ手ハ下ツテ膝ノ上へ落チテシマツタ。ソレデ余(モール氏)ハ其人ニ向ツテ「君ノ手ハ膝ニ、シツカリ喰ロ附イテシマツテ離レナイノダ。」云々

〔第二例〕余(モール氏)ガ、五十三歳ノ婦人ニ試験ヲ施シタノデアアル。先ツ其婦人ヲ椅子ニカケサセテ置イテ、余(モール氏)ハ其前ニ坐チ占メタ。其レカラ余(モール氏)ハ、自分

ノ両手ヲ上ゲテ、掌ヲ婦人ノ方ヘ向ケテ、頭ノ絶頂カラ鳩尾ノ處マデ、了度撫デルガ如クニ、其手ヲ下ゲタ。併シ、手ト婦人ノ身體トノ間ニハ、二乃至三センチメートル(凡ソ七分乃至一寸)位ノ距離ヲ置イテ、其身體ニ手ノ觸レナイヤウニシテ居ルノデアアル。ソシテ手ヲ鳩尾ノ邊マデ下ゲルヤ否ヤ、左右ニ廣ク開イテ、復タ両手ヲ婦人ノ頭ノ上ニ上ゲ、以前ノ如クニ、又、其レヲ下ロシ、始終同一ノ運動ヲ反復シタノデアアル。余(モール氏)ハ凡ソ十分間之レヲ續ケタ。スルト、婦人ハ、全ク眼ヲ閉ヂテシマツテ、深呼吸ヲシテ恰カモ、安眠ヲシテ居ル如クニナツタ。ソコデ、余(モール氏)ハ暗示ヲ與ヘタ。云々、

〔第三例〕余(モール氏)ガ、屢々催眠術ヲ施シタ十六歳ノ男兒



ニ就イテ、余ノ行ツタ試験デアル。  
余モール氏ハ、先ツ其男兒ニ向ツテ、眞直ニ余ヲ眺メテ居ルコトヲ命ツタ、而シテ、彼レガ暫ク、余ヲ見詰メテ居ツタ後ニ、余ハ其手ヲ取ツテ、余ト共ニ歩カセタ。其レカラ手ヲ離シテ、獨リ立タセテ置イタガ、併シ、眼ハ矢張り絶エズ、互ニ見詰メテ居ツタノデアル。  
ソコデ、余ハ、自分ノ右ノ手ヲ擧ゲタ。スルト、其男兒モ亦、同一ノコトヲヤツタ。云々、

〔第四例〕余モール氏ガ四十一歳ノ紳士X氏ニ行ツタ試験デアル。余ハ先ツX氏ヲ椅子ニカケサセテ置イテ、努メテ眠ルヤウニスルコトヲ命ジタ。唯ダ、睡ラウト思フ外、何モ考ヘルナ。ト云ツテ置イタ。ソシテ數秒時ノ後、余ハ

又タ、X氏ニ向ツテ、次ノ如ク言ツタノデアル。

「モ一君ノ眼瞼ハ閉ザカケテ來タ。君ノ眼ハ段々ニ疲レテ來タ。眼瞼ハ大變ニ顛ヘテ居ル。君ハ、モ一大變疲レ果テタ。君ノ腕ハ睡ツテ居ル。君ノ足ハ、疲レテシマツタ。君ハ全身重ク感シテ睡ムクテ堪ラナイノダ。ソレ君ノ眼ハ今閉ザル。君ノ頭ハ重クナル。君ノ心ハ解ラナクナル。モ一君ハ耐ヘラレナイ。君ノ眼瞼ハ、モ一閉ザテシマツタ。サ一睡ツタ。」

余ハX氏ニ自ラ努メテ睡ムルヤウニサセテ置イテ、斯ク言ツテ居ル内ニ、其通りX氏ハ睡ツテシマツタノデアル。云々。  
モ一ハ、行ツタ模範例ハ、右ハ通り、デアルガ、予ハ此模範



例ニ倣ヘハ催眠セナイトハ云ハナイガ初學者ナシテ半信半疑ヲ五里霧中ニ迷ハセル所ガ多カラウト思フノデアアル。獨逸ノ有名ナル實驗家トモ言ハレモルモル氏ハ催眠術ノ原理ヲ實驗例ヲ擧ゲタノデアラウカモル氏ハ催眠術ノ原理的理論ニツイテハ科學的ニ中立派ニ感服ノ外無キマデニ述ベテアルガ催眠方法ノ模範例トシテスカル實例ヲ引カレル位ナラハ或ハ心理學上ヨリ理論ヲ述ベタル理論家デ施術ノ實地ニツイテハ我國ノ諸實驗家ヨリモ遙ニ劣ツテ居ルハ無カラウカ若シ眞實の實驗家トシテ見レバ何故モ少シ委敷述ベ無ツタノデアラウカ或ハ之レモ何かノ理由デ原理的理論ダケハ詳細ニ述ベタルモ實施催眠方法ニ至ツテハ或ハ秘密ニセラレタノデアハ無カラウカト思フ

ハデアアル之レハ予ノ謬見デアラウ。予ハ最初此模範例ヲ讀シテ半信半疑コソナ簡短ナ方法デ人ヲ催眠サセルコトガ出來ルデアラウカ科學的原理ガ有ルトシテ見レバ催眠スルニハ相違無カラウカ施術ノ實地ニ當ツテハコソナ簡短ナコトデアハ到底駄目デアラウ併シ如何ニセバ術者ノ任意ニ人ヲ催眠サセルコトガ出來ヤウカ此模範例デハ少シ會得ノ出來ナイ所ガアル如何ニセバ宜カラウカト徹夜之レガ工夫ヲ凝ラシタコトガアツタノデアアル所ガ其結果意外ナ所ニ氣ガ附イタノデアアル。即催眠方法ナルモノハ實ニ形式的方法ニ過ギナイノダカラカスル形式的方法ニ偏シテハ到底目的ヲ達スルコトハ出來マ



ス。催眠術ノ原理ガ心理的ニアルトシテ見レバ被術者チシテ出來得ル限リ信用サセ而シテ後如何ナル方法デモ宜イ臨機應變被術者チ信用セシムベキ方法ヲ取レバ宜イノデアル。サウズレバ必ズ成効スルニ相違無イトハ堅固ナル確信ガ起ツタノデアアル。併シ人チ信用サセルニハ如何ニスレバ宜カラウカ之レニハ是非共方便的手段ヲ取ラチバナルマイ又暗示ヲ與フルニモ是非共方便の暗示ヲ取ラチバナルルマイ併シ方便法ヤ方便の暗示ハ如何ナルモチ用フレバ宜カラウカ成ルベク催眠シツツアルモノチ用フレルニハ言語ニ依ツテ人チ信用サセル工夫ハアルカト就中カ生理的方面ヨリ信用サセル工夫ハアルカト就中

枕ノ上デ或ハ頭部ヲ撫テ見タリ。或ハ眼球ヲ壓シテモ見タリ。或ハ胸部ヲ撫テモ見タリ。或ハ身體ヲ動搖サセテモ見タリ。種々ト工夫ヲ凝ラシテ自ラ被術者自心ノ精神ニナツテ刺戟ノ模様ヲ考ヘテ見タノデアアル。所ガ此方便ヲ利用スレバ多分催眠スルニ相違無カラウト工夫ガ出來タノデ嬉シクテナライ。早ク夜ガ明クレバ宜イガ。夜サヘ明クレバ早ク學校ヘ行ツテ兒童ニ試験シテ見ヤウ。此時予ハ教職ニ従事シテ居ツタト其夜ハトウ一瞬ダニセズ夜ノ明クルヲ待ツテ學校ニ行キ予ガ受持生ニ試ミタノデアアル。(此當時ハ學校ニ於ケル催眠術ノ禁止令ガ無ツタノデ行ツテ見タノデアアル。所ガ意外ニモ完全ナル催眠状態ニ導クコトガ出來タノデアアル。此時予ノ用非タ催眠方法ハ後ニ詳述



セウ。此時ノ予ノ歡喜ハ何トモ譬ヘヤウノ無イ程デアツタ  
尙同日ニ於テ引續キ九名ノ兒童ニ試驗ヲシタガ何レモ完  
全ナル催眠状態デアツテ不完全ナト思ハレタ者ハ僅ニ一  
名デアツタノデアアル。此不完全者ニハ催眠セザル原因ガア  
ツタノデアアル。以後毎日餘暇ヲ俟ツテ兒童ニ實驗ヲ試ミタ  
ガ兒童ニナラバ深淺ノ差ハアルガ誰レヲデモ催眠サセル  
コトガ出來タノデアアル。  
併シ其當時大人ニ對シテハ往々不成効ニ終ルユトモアツ  
タノデアアル。其レハ外デモ無イ其當時ニ於テハ方便及暗示  
ノ種類ニ就イテモ研究日未ダ淺カツタノデ予ノ現時ニ於  
ケル理想ノ一分ダニ無ツタノデアアル。所ガ一時教職ヲモ辭  
シテ専門的ニ研究ニ研究ヲ重キタ結果現今デハ少シ上達

モシ又發明シタ所モアルノデアアル。殊ニ方便ノ種類及暗示  
ノ利用法ニ關シテハ大ニ意ヲ用ヰタノデアアル。讀者希クハ  
方便及暗示ノ條下ヲ輕々看過セズ熟讀アソ。第五章及第六  
章參照。

左ニ予ノ實驗的催眠方法ヲ詳述シテ見ヤウ。

ロ予ノ實驗的催眠方法

予ノ實驗的催眠方法ヲ紹介スルニ當ツテ予ガ最初兒童ニ  
試驗ヲナシ頗ル好成績ヲ得タル考案的催眠方法ヲ詳述シ  
テ見ヤウ。

予ハ既ニ述ベタ如ク早朝學校ニ赴イタノデアアル。所ガ今日  
ハ少シ雨天デアツタノデ無數ノ兒童ガ無邪氣ヲシク遊ビ  
戯レテ居ル。予ハ此中ノ一人ナル平素級長ヲモ勤メ學業モ



頗ル優等デ、予ガ最モ愛シツツアル者ヲ催眠セシムベク選  
定シタノデアアル。

選定者、城谷博、年齢九歳、貧血性、

所デ、予ハ左ノ如ク云ツタ。

予「博サン、一寸來テ下サイ。オ前サン早イデス子。何時來  
タノデスカ。」

被術者「ハイ、今來タノデス、何カ用事デスカ。」

ト、ニコニコ笑ヒ乍ラ、愛ラシクモ、飛ンデ來テ、予ノ手ヲ握ッ  
タ。

予用事ト云フ程ノユトモ無イノデスガ子、私ハ昨日、面  
白イユトヲ考ヘタノデス。其レガ大變面白イノデス  
ヨ。私ガオ前サンデモ、誰レデモ、眠ラセヤウト思ヘバ、

眠ラセルコトガ出來テ、ソレテ眠ラセルダケデハ無  
イ、其眠ラセテ居ル間ニ、面白イユトヲ見セテ上ゲル  
ノデス。兵士ガ戰爭ナシテ居ル所デモ、軍艦ガ走ツテ  
居ル所デモ、櫻ノ花ガ奇麗ニ咲イテ居ル所デモ、オ前  
サンノ見タイト思フ物ヲ見セテ上ゲルコトガ出來  
ルノデス。面白イユトデセウ。オ前サンニ何カ一ツ見  
セテ上ゲマセウカ。」

之レ即被術者ニ、興味の希望心ヲ起サセル爲メ、斯カル方便  
的説明ヲ與ヘタノデアアル。所ガ、

被術者「先生、ソレハ、虚言デセウ。其ンナユトガ出來マスカ。」

予「博サン、私ガ虚言ヲ云ツタユトガアリマスカ、私ハ毎  
日皆様ニ、虚言ヲ云ツテハナラヌ、正直ニシナサイ、ト



勸メテ居ルデセウ。其レニ何ンデ、虚言ナンカ云ロマ  
セウ。若シ虚言ト思ヘバ、一ツ何か見セテ上ゲマセウ  
カ。

被術者先生屹度本當デス子。其レデハ、何か見セテ下サイ。  
ト、如何ニモ、眞實的の希望心ガ起ツタ模様デアル。ソコデ、予ハ  
左ノ如ク行ツタ。

予ハ被術者ノ後方ニ立テ、被術者ノ背部ガ予ノ腹部ニ接  
スル様ニシテ、予ノ左手ヲ被術者ノ前頭部ニ添ヘ、右手ヲ被  
術者ノ右手ヲ輕ク握リ、予ハ少シ右半身ニナツテ、之レデ  
施術的準備ガ出來タノデアル。ソコデ予ハ左ノ如キ暗示  
ヲ與ヘタ。

予博サン、其レデハ眠ラセテ、面白イ物ヲ見セテ上ゲマ

ス。決シテ恐ロシイコトハ有リマセンヨ。暫ク眠ムレ  
バ宜イノデス。サウスレバ、私ガ直グ起シテ上ゲマス  
カラ子。

之レ即被術者ニ恐怖心無カラシメン爲メ慰安的ノ暗示ヲ  
與ヘタノデアル。(第五五頁(八)之部参照)。

ソコデ、予ハ「ハ」ト一聲掛聲ヲナスト同時ニ、左手ヲ被術者  
ノ眼球ヲ輕壓シテ上方ヨリ下方へ微々タル刺戟ヲ加ヘツ  
ツ、又身體ヲ少シ動搖サセツツ、漸々ト、後方ニ傾ケ、左ノ如ク、  
漸々の暗示(第四五頁参照)ヲ與ヘタノデアル。

(備考) 被術者ヲ後方ニ傾ケル場合ニハ、術者自身ヲ後方ニ  
反ラシ、術者ノ腹部ノ上ニ被術者ノ背部若シクハ、後頭部ガ  
接スルヤウニシテ成ルベク被術者ニ安全ナル位置ヲ取ラセ



ヲ取ラレノイノデアル。但シ被術者ノ身長如何ニ依ツテ便宜ノ方法

ヲ博サン、虚言デハ無イデセウ。オ前サンハ、眼ノ中ガ、シ

ンシントシテ大分眠タクナツテ來タデセウ。……………

其レ見ナサイ、早足ノ先ガ少シク「シンドウ」ナツテ來

タデセウ。……………其レ又、腰ガ「シンドウ」ナツテ來タデ

セウ。……………其レ又、腕ガ「シンドウ」ナツテ來タデセウ。

……………今又、首ガ「シンドウ」ナツテ來タデセウ。……………

其レオ前サンノ首ハ後へ少シツツ傾イテ居リマス。

……………其レ又大リ傾イテ來マシタ。……………早オ前サ

ンハ、大分眠ツテ仕舞ツタデス。……………モウ僅ノ間ニ

眠ツテ仕舞ヒマスヨ。……………其レ今眠ツテ仕舞ヒマ

スツ。……………其レ今眠ツテ仕舞ツタ。……………オ前サン

ハ最早目ヲ開カウトシテモ、駄目デス。靜ニシテ眠ツ

テ居ナサイ。又起シテ上ゲマスカヲ子。

(備考) 右暗示ト暗示トノ間ニ……………如此點線ノア

ルハ、暗示ト暗示トノ間ニ少シ休息時間ヲ要スル印

デアアル。

右ノ暗示ニ依ツテ被術者ヲ完全ナル催眠状態ニ導クコト

ガ出來タノデアアル。此教室ハ雨天ノ爲メ、無數ノ兒童ガ戯レ

テ喧騒ナリシニモ拘ハラズ、斯クモ完全ニ催眠シタノデア

ル。之レヲ以テ考フレバ、催眠方法ノ如何ニ依ツテハ、喧騒ナ

ル場所ニモ拘ハラズ、催眠サセルコトガ出來ルト云フコト

ガ分ル。ソレデ、予ハ讀者諸氏ニ對シ充分ナル催眠方法ノ研



ヲ。デ。ハ。イ。ア。キ。ナ。無。テ。合。用。ン。  
 ヲ。ア。ノ。ル。ノ。ツ。イ。却。チ。上。  
 ガ。ル。ハ。デ。其。ミ。ツ。場。却。利。上。  
 此。之。讀。者。ハ。レ。カ。來。合。テ。用。リ。  
 利。用。法。位。ハ。著。者。ノ。中。ニ。其。マ。デ。ニ。困。難。ナ。モ。ト。想。像。ハ。無。イ。ノ。デ。ア。

究  
 ア。ラ。ン。ユ。ト。ナ。希。望。シ。テ。止。ナ。イ。次。第。デ。ア。ル。  
 注。意。被。術。者。ノ。眼。球。ニ。刺。戟。ヲ。加。ヘ。タ。リ。或。ハ。身。體。ヲ。動。搖。



一節参照ヲモ同時ニ起サセルコトガ出來ルノデア  
 約言スルト一ツノ方法ヲ行フニ當ツテ方便法及ビ生理  
 的催眠心理的催眠ノ三ツガ同時ニ行ハレテ居ルノデア  
 ル實ニ至極便利ナ方法ト云ツテ宜イノデアアル加之感  
 此際ニ於ケル術者ノ心カニシテ強固ナラバ又同時ニ感  
 通作用之レハ術者ノ心カ被術者ニ感通スル作用ヲ云フ  
 ノデアアル併シ本編ニハ感通作用ノコトハ省畧スルコト  
 ニシタ若シ諸君ニシテ感通作用ノ説明ヲ望ム者ハ拙者  
 心理治療法催眠術編第一章第三節ニ於テ詳述シテ置イ  
 タカラ御参照アラユトナ乞フ但シ同書ハ東京青木嵩  
 山堂ニテ發行ヲモ行ハレテ居ルノデアアル之レ即予ガ徹  
 夜のニ工夫ヲ凝ラシタ結果思ヒツイタ考案法デアアル

ル。若シ此利用法ガ困難デアアル位ナ讀者諸氏ナラバ到底  
 催眠術ノ妙域ニ達スルコトノ研究アレテ困難ナ業デア  
 シテ置ク所デアアル乞フ充分研究アレテ困難ナ業デア  
 無イコトヲ證明シテ置カウ  
 又被術者ニオ前サノ首ハ後少シツ傾イテ居ルトカ  
 カオ前サノ身體ハ少シツ後傾キカケテ居ルトカ  
 云フ如キ暗示ヲ與フル場合ニモ前同様被術者ニ悟ラレ  
 ザル様如何ニモ催眠術ノ爲メ傾キツアルモト感  
 ゼル様漸々ト傾ケバナラヌノデアアル  
 若シ術者ニシテ前述べ生理的利用法ヲ巧妙ニ行ハバ單  
 ニ被術者ヲ信セシメル方便トナルノミナラズ又  
 眼球ノ刺戟或ハ身體ノ動搖ヲトクシ生理的催眠第九章第  
 九章第



予ノ催眠法ハ此一例ヲ以テモ悟ラレ如ク方便デ被術者ヲ信用サセルト同時ニ生理的的心理的ノ催眠方法ヲ折衷的ニ巧妙ニ行ヒ又感通作用ヲモ同時ニ與ヘタイト云フ折衷的催眠方法ニ過ギナイノデ又其主要點ハ被術者ノ心理利用ニ重キヲ置イテ居ルト云フコトガ分ルノデアル。讀者希クハ此注意事項ヲ輕々看過セズ熟讀ノ上予ノ意見ノアル所ヲ悟ラレヨ。

◎被術者ノ位置。 椅子ニ寄ラセル。

◎凝視的催眠方法。 何カ一物ヲ凝視サセル時ニハ被術者ノ眼球ニ疲勞ヲ生シ漸々流涙ヲ催シテ來ル。流涙スルニハ被術者ニ依ツテ遲速ノ差ガアル。次ニ眼球結膜ニ充血ヲ生シテ來ル。充血ノ度ニモ被術者ニ依ツテ差ガアル。次ニ瞬ヲヌルコト漸々頻繁トナツテ來ル。此際被術者ニ依ツテ催眠的暗示ノ必要ガアル。次ニハ眼瞼ガ漸々閉着シテ來ル。催眠的暗示ノ必要ガアル。次ニハ眼ヲ開カントシテ開カレザル状態ヲ發現スル。催眠的暗示ノ必要ガアル。次ニハ眼ヲ開カントシテ意志ガ休止シテ來ル。茲ニ於テ前述ノ方法即眼球ニ微々タル刺戟ヲ加ヘツツ被術者ノ身體ヲ前後左右ニ微動的ニ動搖サセル。又同時ニ身體ヲ漸々ト後方ニ傾ケル。此際又被術者ニ依ツテ催



眠的暗示ノ必要ガアル。

斯クシテ被術者ニ如何ニモ催眠シツツアルモノノ如キ感シテ起サセテ漸々ト催眠状態ニ導クノデアアル。然ル時ハ被術者ハ漸々深呼吸トナリ肩デ呼吸スル如シ。又漸々ト口ヲ開イテ來ル。被術者ニ依ツテハ口ヲ開クガ普通ナレドモ中ニハ開カザル者モアル。此ノ如クシテ遂ニハ全ク睡眠ノ状態ヲ發現シテ來ル。夜間ニ於ケル睡眠ノ状態ト同シ。茲ニ於テ術者ハ簡短ニシテ明瞭ナル嚴然タル左ノ如キ暗示(即術者ノ精神ヲ罩メタル嚴然タル暗示)ヲ與ヘルノデアアル。

「アア、オ前サンハ、今眠ツテ仕舞ツタ。起キテハナリマセシヨ。暫ク眠ツテオナサイ。」

右ノ暗示ニ依ツテ被術者ハ全ク催眠状態トナルモノデアアル。併シ前暗示ニシテ嚴然デナイカ。低聲ニシテ暗示ニ力ガ無イカ。若シクハ疑問的ノ暗示。即「オ前サンハ、モウ眠ツタノデスカ。マダ眠ラナイノデスカ」ノ如キ暗示ヲ與ヘル場合ニハ術被二者ノ關聯付カザルノミカ。却ツテ疑問的暗示ノ爲メ折角催眠シタル者ヲ覺醒サセルコトガアルノデアアル。初學者ニハ最モ注意ヲ願ヒタイ所デアアル。

◎他ノ方法。凝視法ニ依ツテ被術者ノ眼。閉着後前方法第一。○三頁参照)ヲ施サズニ摩擦法ヲ行フコトカアル。其レハ眼。閉着後ニ、蟬谷(俗ニ云フ、ユメカミ)若シクハ、後頭部ニ摩擦ヲ加ヘルノデアアル。此二個所ノ摩擦ハ實ニ大切ナ摩擦デ、何レカノ一方ヲ單行スルノミデモ、克ク催



眠サセルコトノ出來ルハ、予ノ實驗スル所デアアル。  
右ノ外。腕ノ。摩。擦。若シクハ、胸。部ノ。摩。擦。ヲ。與。ヘ。ル。コ。ト。モ  
アルガ、之レ又、克ク催眠サセルコトガ出來ルノデアアル。催眠  
原因第七四頁参照。

注意 施術前ニ於ケル被術者ノ位置ニ關シテハ、必ズシ  
モ、椅子ニ凭ラセルノガ適當シテ居ルノデハ無イガ、予ハ  
種々ノ方便法即、身體ノ動搖前後ヘノ傾斜等ヲ用井タイ  
ノデ、自然此ノ椅子ニ凭ラセルノ便ヲ感ズルノデアアル。併  
シ、被術者ノ模様如何ニ依ツテハ、臨機應變ノ所置ヲ取ラ  
レタイノデアアル。(第五四頁参照)。

又、一物ヲ凝視サセルニ當ツテハ、如何ナル物ヲ凝視サセ  
テモ宜イ。被術者ノ視神經ニ疲勞ヲ與ヘ、生理的催眠(第七

四頁参照)ヲ起サセル方法デアリサヘスレバ、宜イノデア  
ル。今凝視物ノ二三ヲ諸氏ヘノ參考マデニ、擧ゲテ見ヤウ。

「一」術、被相對シテ、術者ノ眼若シクハ鼻、若シクハ、膝下ノ扣  
鈕、何レヲ凝視サセテモ宜イ。

「二」術者ノ指、頭ヲ凝視サセテモ、時計ノ龍頭デモ、指輪デモ、  
筆ノ軸端デモ宜イ。

「三」凝視物ヲ、術者ガ持タナクテモ、被術者ニ持タセテ、其レ  
ヲ凝視サセテモ宜イ。又上ニ何か一物(玉ノ如キ類)ヲ釣ル  
シテ、其レヲ凝視サセテモ宜イ。又障子、若シクハ、屏風、若シ  
クハ、掛軸等ノ文字、若シクハ、繪畫ノ一部ヲ凝視サセテモ  
宜イ。

「四」夜分ナラバ、適當ナ位置ニ、洋燈ヲ置キ其燈火ヲ凝視サ



セテモ宜イ。但シ、此場合ニハ、燈火ノ強弱如何ニ注意ヲ加ヘテバナラヌ。殊ニ強キニ過グル場合ニハ、被術者ノ眼球ニ生理的傷害ヲ與フルコトガ有ルカラ、注意ヲ加ヘテバナラヌ。

又、凝視法ヲ取ル場合ニハ、左ノ三項ニ注意ヲ加ヘテバナラヌ。

(イ) 凝視中ハ、成ルベク、被術者ニ瞬スルコトヲ禁止セテバナラヌ。

(ロ) 術者ノ眼ヲ凝視サセル場合ニハ、術者モ、又、自分ノ瞬ヲ禁止シ、被術者ノ眼ヲ凝視セテバナラヌ。

(ハ) 凝視物ハ、成ルベク被術者ノ上方ニ置キ、被術者ガ上目ヲ凝視スルヤウニセテバナラヌ。

先ヅ凝視法ニ就イテノ注意ハ前述ノ如クデアアルカラ充分ナル注意ヲ以テ施術ヲ願ヒタイノデアアル。

次ニ實驗的メソッドノ方法ニ就イテ詳述シテ見ヤウ。

此方法ハ、俗ニメソッドノ方法ト稱シテ傳ヘラレテ居ル方法デアアル。即術者ノ両手ヲ舉ゲテ、掌ヲ被術者ノ方ヘ向ケ、頭ノ絶頂カラ、鳩尾ノ所マデ丁度撫デルガ如クニ、其手ヲ下ゲ、鳩尾ノ邊マデ下ゲルヤ否ヤ、左右ニ廣ク開イテ、復タ両手ヲ被術者ノ頭上ニ上げ以前ノ如クニ、其レヲ何回トナク、反復スルノデアアル。然ル時ハ、漸々、睡眠ノ状ヲ催シ、遂ニハ、全ク催眠状態トナルノデアアル。

予ハ、右ノ方法ノミデモ、催眠サセルコトハ出來ルガ、併シ、此方法ニ重キヲ置カズ、施術前ニ於ケル注意(第六五頁参照)ヲ



充分ニシ、被術者ヲ確信サセテ後ニ、右方法ヲ行フト同時ニ、  
臨機應變、催眠的暗示ヲモ與ヘタイノデアアル。尙又、右方法施  
行中ハ、術被二者モ成ルベク凝視法ヲ取り、被術者ノ閉目後  
ハ、既ニ述ベタル生理的應用法(第一〇三頁参照)ヲ施シタノ  
デアアル。  
次ニ、暗示的催眠方法(精神的方法)ニ就イテ、意見ヲ述ベテ見  
ヤウ。

此方法ハ、生理的方法、即形式的方法ヲ用イズ、全ク、術者ノ  
言語的暗示ニ依ツテ、被術者ノ精神作用ヲ利用シテ、催眠  
状態ニ導クノ方法デアアル。

即前、モール氏ノ「實驗例第四」ノ如キハ之レニ屬スルモノ  
デアアル。(第八四頁参照)。

予ハ、右ノ方法ヲ以テ、最モ無害安全ナル方法ト思フノデア  
ル。併シ、此方法ノミデハ、被術者ノ確信シタル場合、若シクハ、  
一度、催眠術ニ感シタコトノアル者、若シクハ、術者ノ技術ニ  
シテ、巧妙ナル場合ニハ、克ク成效スルモノデアアルガ、初學  
者ニ取ツテハ、至極困難ナ方法デアラウト思フノデアアル。其  
レデ予ハ、此暗示的方法ヲ行フト同時ニ、既ニ述ベタル生理的  
方法ヲモ折衷的ニ施サレタイコトヲ勸メタイノデアアル。  
右ノ外、實驗的催眠方法ノ形式的手段ニ至ツテハ、數多イガ  
之レヲ要スルニ、心理的、生理的ノ二方面ヨリ、催眠ニ向ハシ  
ムル方法デアリ。サヘスレバ、如何ナル方法ヲ用フルモ、催眠  
サセルコトハ、至極容易ナコト云ツテ、宜イノデアアル。諸氏  
希クハ、充分ナル御工夫アラント云ツテ、祈ル。



◎右實驗的催眠方法ニ對スル總括

予ノ實驗的催眠方法ハ、前述ノ如ク、第一ニ被術者ノ精神作用ヲ促スト同時ニ生理的方法ヲモ、折衷的ニ用井、又術者ノ感通作用ヲモ與ヘタイト云フマデニ過ギナイノデアアル。今之レニ對スル予ノ意見ヲ總括スルト左ノ三項トナルノデアアル。

第一、被術者ヲ確信サセルト同時ニ、術者モ、又必ズ催眠セ

第二、生理的方法ヲ交ヘツツ、漸々催眠的暗示ヲ與フルコ

第三、將ニ熟睡無我ノ境ニ入ラントスル一瞬間ニ當リ、嚴然タル催眠的暗示ヲ與ヘテ、術被二者ノ意志聯合ヲ

附ケルコト

附説 多年催眠術研究ノ結果、右實驗的方法以外ニ一種ノ

催眠方法アルヲ發見シタノデアアル。即前實驗例ニ示

ス如ク、心理的生理的方法ヲ連續施行シテ、今將ニ熟睡

無我ノ境ニ入ラントスル一瞬間ニ、今オ眠リナサイトカ

今眠ツテ仕舞ツタトカ、催眠的暗示ヲ與ヘズ、暗示

ノ利用法ト、幻覺作用ト、催眠的暗示ヲ依ツテ、薄睡状態、熟

睡状態、睡遊状態、三者ノ階段ヲ踏マズ、全ク熟睡無我ノ狀

態ヲ起サセズ、術被二者互ニ言語ヲ交ヘツツ、不知不識

ノ間ニ、薄睡状態ノ至極初歩ヨリ、直今ニ睡遊状態ニ誘導

スルコトガ出來ルノデアル。即換言スルト、薄睡状態ノ初

歩ヲ生ズベキ被術者ヲ、如何ナル者デモ、此方法ニ依ツ



テ直チニ睡遊状態ニ導クコトガ出來ルノデアアル加之催  
眠歩合ノ多キニ至ツテハ到底普通催眠方法ノ及ブ所デ  
ハ無イノデアアル實ニ予ノ自負スル所デ管テ藤岡式催眠  
術ト自稱シタ所以デアアル予ハ本編ヲ著述スルニ當ツテ  
此方法ヲ詳述スル考ヘデアツタガ此方法ヤ簡ニ似テ簡  
ナラズ却ツテ初學者ヲシテ疑惑ニ陥ラシムル虞ガアル  
ノデ遺憾乍ラモ見合ハセルコトトシタ何レ後日ヲ俟ツ  
テ藤岡式催眠術ト題シ公ニスル考ヘデアアル諸君希クバ  
其期ヲ待タレシコトヲ

○第三節 意志ノ聯合

催眠術ニ關シ最モ必要ナルコトハ意志聯合ノ成立デア  
ル即意志聯合トハ術者ノ意志ト被術者ノ意志トガ相聯合

シタルコトデ術者ノ暗示ニ被術者ノ感應スルノハ此意志  
聯合ガ成立シテ居ルカラデアアル若シ被術者ニシテ此意志  
聯合ガ成立セナイ時ニハ術者ノ暗示モ感應スルコト無ク  
何等ノ効驗モ無イノデアアル其レニ初學者ノ多クハ被術者  
ヲシテ催眠セシムルコトハ出來ルモ此意志聯合ガ成立セ  
ズ全ク死物ニ等シキ状態ヲ見テ暗示モ與ヘラレズ  
折角催眠サセ乍ラモ無効ニ終ルコトガアルノデアアル實ニ  
遺憾ノ至リデアアル予ニハ數十名ノ門人が有ルガ研究ノ最  
初ニ當ツテ此徹ヲ踏マナイ者ハ少ナイノデアアル最初ニ於  
ケル質問ノ中ニハ必ズ此問題ガ加ハツテ居ル如何ニモ初  
學者ニハ困難ラシイガ其レハ外デモ無イ左ノ事項ニ注意  
ヲ加ヘナイカラデアアル



第一、被術者ヲ確信サセ、被術者ノ精神作用ヲ利用シテ、催眠ニ導クコト。  
第二、將ニ眠ラントスル瞬間ニ於テ「オ眠リナサイ」トカ、今眠ツテ仕舞ツタトカノ、催眠的暗示ヲ嚴然ト與フルコト。

意志聯合ヲ成立サセル極意トモ云フベキモノハ、右ノ二ツニ過ギナイノデアル。若シ術者ニシテ此要領ヲ會得スル時ニハ、意志聯合ヲ成立サセルコトハ、至極容易ナコトト云ツテ宜イノデアル。其レニ初學者ノ多クハ、此點ニ注意ヲ加ヘズ、唯生理的催眠方法ヲ單行シテ催眠サセルコトヲ得ルモ、若シ被術者ノ精神作用ニシテ、之レニ伴ハザル時ニハ、單ニ生理的睡眠(第一〇七頁参照)ニ過ギナイノデ催眠術ニ要ス

ル催眠状態デハ無イノデアル。如何程催眠サセテモ何等ノ効驗無キモノデアル。

實ニ催眠状態ト普通ノ睡眠状態トノ差違ハ、術被二者ノ意志聯合ノ有無ニ歸スルノデアル。

之レヲ要スルニ意志聯合ナルモノハ、左程困難ナル業デハ無イ。施術ノ最初ヨリ暗示ノ利用ニ依ツテ、被術者ノ精神作用ヲ利用サヘスレバ、自然成立スルモノト云ツテ宜イノデアル。

若シ術者ニシテ此利用法ヲ巧妙ニスル時ニハ、催眠セシメズシテ、疾病治療サスルコトガ出來ル。(無催眠療法ノ條下参照)又催眠的暗示ヲ與ヘズ、睡眠ノ状態ニ導カズシテ、一種ノ覺醒的感應状態(普通ノ覺醒状態ニシテ、術者ノ暗示ニ感應



シ易ク、如何ナル幻覺デモ、錯覺デモ、起サルベキ状態ヲ云フ。  
換言スレバ、睡遊状態ノ完全ナルモノニ導クコトモ、出來ル  
ハデアル。之レ、予ノ發明シタ方法デ、即藤岡式催眠術デア  
ル。  
(第一二四頁参照)  
實ニ被術者ノ精神作用ノ利用法一ツデ、前述ノ如キ、奇現象  
ヲモ起スコトガ出來ルノデアアル。從ツテ、精神作用ノ利用法  
デ、催眠状態ニ導キ、意志聯合ヲ成立サセル位ナコトハ、至極  
容易ナコトト云ツテ宜イノデアアル。  
予ハ、催眠術研究ノ最初ヨリ、現今ニ至ルマデ、睡眠ノ状態ニ  
導キ、乍ラ此意志聯合ノ成立セナカッタコトハ、一度ダニ無  
ツタノデアアル。之レ、即、最初ヨリ被術者ノ精神作用ノ利用ト  
云フ點ニ、注意ヲ加ヘタカラデアラウ、予ノ如ク師モ無ク、獨

習的ニ考案ヲ擬ラシタ者デサヘ少シハ發明シタ所モアル  
ノデアアル。讀者希クハ、充分ナル御研究アレ。

◎第四節 催眠スルニ要スル費消時間

此費消時間ニ關シテハ、一概ニ斷言スルコトハ出來ナイノ  
デアアル。被術者其人ノ心性如何ト、術者ノ技術如何ニ依ツテ、  
遲速ノ差ガ生ズルノデアアル。一分間ニシテ眠ル者モアル。又、  
五分間ニシテ眠ル者モ、十五分間、二十分間、三十分間、  
甚シキハ、一時間以上ヲ要スル者モアルノデアアル。ガ、大低ノ  
被術者ナラバ、十五分間乃至三十分間以内ニテ眠ルモノデ  
アル。  
併シ、初學者ニ對シ、一言注意シテ置キタイノハ、五分間、十  
分間ニシテ眠ルモノデハ、無イ、必ズ、十分デモ、二十分デモ、三



十分デモ、又、一時間デモ、二時間デモ、或ル場合ニハ、三時間ヲ要スルトモ、眠ラセバ、ナラヌト、ノ堅固不屈ヲ忍耐心ガ無ケレバ、ナラヌデアアル。若シ之レニ反シテ、早五分モ十分モ施術シタノニ、何等ノ感應モ無イカラ、之レハ眠ラセルコトハ出来マイト、ノ薄弱ナル精神ヲ起スヤウデハ到底斯術ノ妙域ヲ極メルト云フコトハ出来ナイデアアル。之レ予ガ特ニ注意ヲ加ヘテ置キタイ所デアアル。

併シ斯術ニ熟達セバ、如何ナル被術者ニ對シテモ、施術ヲ始ムルヤ否ヤ直ニ被術者ノ精神状態ヲ探知スルコトガ出来テ、此者ナラバ、何分間デ眠ラセルコトガ出来ルトカ、此者ナラバ、假令長時間ヲ要スルトモ、眠ラセルコトハ出来ナイトカノ、斷定ガ、自然出来得ルヤウニナルデアアル。ソレデ、初學

者ハ此期ノ生ズルマデハ、費消時間ノ多少如何ニ拘泥セズニ、充分ナル忍耐心ヲ以テ研究セラレ、ンコトヲ希望シタイノデアアル。

○第五節 施術中ニ於ケル注意

施術前ニ注意ヲ要スルト同シク、又、施術中ニモ注意ヲ要スルモノデアアル。今、注意事項ノ二三ヲ列舉シテ見ヤウ。

第一、術者ノ守ルベキ注意

- (イ) 如何ナル方法ヲ行フニ當ツテモ、眞實の熱心ニ行ヒ、且ツ、心力感傳ヲモ與ヘル程ノ決心ガ無ケレバナラヌ。
- (ロ) 如何程可笑事情ガ起ルモ、決シテ笑顔ヲシタリ、笑聲ヲ發シタリシテハナラヌ。
- (ハ) 將ニ睡眠ニ入ラントスル前ニ當ツテハ、殊ニ自分ノ



動作ニ注意シ、咳嗽ノ如キモ成ルベク耐忍セテバナナラヌ。

(ニ) 暗示ヲ與フルニハ、輕卒ニセズ、其時機ニ適當ナル暗示ヲ與ヘテバナナラヌ。(第六三頁参照)

(ホ) 催眠ニ要スル費消時間ノ長キ爲メ倦怠心ヲ起シテハナラヌ。(第一六一頁参照)

第二、被術者ニ對スル注意。

(イ) 被術者ニ依ツテハ、用モ無イノニ、手ヲ動カシタリ、足ヲ動カシタリスル者ガアル。之レ等ハ、催眠ノ妨害トナルベキモノナレバ、禁止セテバナナラヌ。

(ロ) 凝視法ヲ行フ場合ニハ、一物ヲ注視スルノミデ、決シテ、傍視サセテハナラヌ。且ツ此場合ニハ、成ルベク、瞬ヲ

モ禁止シテ置カテバナナラヌ。若シ斯カル場合ニ此注意ヲ怠ル時ニハ、往々不成功ニ終ルカ、假合、成効スルニセヨ、其時間が遅延スルノデアル。

第三、變態ニ關スル注意。

施術中變態ノ生ズルユトハ至極稀レデアル。予ハ研究以來無數ノ被術者ニ施術ヲシタガ、此變態ヲ生シタ者ハ、實ニ僅少デアツタノデアル。ソレデ、今更仰々シク變態ニ關スル注意ノ必要モ無イガ、併シ、稀レニモセヨ、昏睡状態ヲ生シタリ、腦貧血ノ爲メ顔面蒼白ト變シタリ、或ハ嘔吐ヲ催シタリ、或ハ卒倒ヲ起ス如キ場合ノ無イトモ限ラナイノデアル。斯カル場合ニハ、初學者ノ多クハ、周章狼狽スルノガ常デハアルガ、決シテ心配ヲ要



スルニハ及バナイ、施術ヲ中止シテ新鮮ナル空氣中ニ  
安靜ニ放置シテ置ケバ宜イノデアアル。斯クスル時ニハ  
漸々普通ノ状態ニ回復スルモノデアアル。

○第七節 催眠後ニ於ケル注意

催眠後ニ於ケル注意ハ殊ニ必要デアアル。今其注意事項ノ二  
三ヲ擧ゲテ意見ヲ述ベテ見ヤウ。

第一、催眠後ハ被術者ノ姿勢ニ注意セヨ。

催眠後ハ術者ノ暗示ヲ待タズシテハ被術者ノ任意ニ  
身體ヲ左右スルコトハ出來ナイノデアアル。其レデ若シ  
姿勢如何ニ注意ヲ加ヘナイ時ニハ、被術者ノ身體ヲ  
疲勞サセルコトガ多イノデアアル。

第二、暗示ノ意義ヲ能ク味ハウテ後ニ與ヘヨ。

暗示ハ無形のデアアルガ、此無形のナル暗示ノ如何ニ  
依ツテハ、有形的ナル被術者ノ身體ニマデ變化ヲ起サ  
セルノデアアル。其レニ、初學者タル者ガ與フベキ暗示ノ  
意義ヲ充分ニ味ハズシテ、輕卒ニ與フル時ニハ、如何ナ  
ル誤謬ノ生ズルヤハ知ルベカラズデアアル。

初學者ノ中ニハ、催眠術ニ於ケル暗示ハ、被術者ニ幻想  
ヲ起サシムルニ過ギナイノデ、被術者ノ身體ニハ、何等  
ノ關係無キモノノ如ク、盲信シテ居ル者モアラウガ、其  
レハ大ナル誤謬デアアル。尤モ、暗示ナルモノハ被術者ニ  
幻想ヲ起サセル手段ニハ相違無イガ、此幻想ニ基イテ  
身體ニモ變化ヲ生ズルノデアアル。實ニ注意ヲ要スベキ  
コトト云ツテ宜イノデアアル。



第三研究的ニモセヨ妄リニ危険ナル暗示ヲ與ヘナ。

治療的暗示ノ場合ニハ、危険ナル暗示ハ無イガ催眠現象ノ實驗ヲ爲ス場合ニハ、術者ノ與ヘ方一ツデ隨分危険ナルユトモアルノデアアル。

譬ヘバ、オ前サンノ呼吸ハ止ツテ仕舞ツタ。トカ、ソレ汽車ガ來テ、オ前サンハ轢死シタ。トカ、或ハ、オ前サンハ難船シテ沈没シテ居ル。トカ、大キナ蛇ガ來テ、オ前サンヲ吞マウトスル。トカ、云フ如キ暗示ヲ云フノデアアル。若シ斯カル危険的ナル暗示ヲ輕卒ニ與フル時ニハ、如何ナル珍事起スベキヤハ、又、以テ知ルユトガ出來ナイノデアアル。之レ注意ヲ要スル所以デアアル。

第四研究的ニ殘續暗示第二七頁参照ヲ與フル場合ニハ

又、之レニ對スル覺醒法ヲモ準備シテ置ケ。殘續暗示ヲ與ヘ、殘續的現象ノ起ルヲ見テ、始メテ、危険ナルユトヲ悟リ、突然之レヲ覺醒サセヤウトシテモ、或ル場合ニハ、成効セナイユトガアル。其レデ、前暗示中、何々ノ現象ガ起ツタ場合ニハ、何時デ、モ、予ガ拍手サヘスレハ、覺醒スルノデアアル。ト云フ如クニ、何デモ宜イ覺醒的ノ暗示ヲ與ヘテ置ク必要ガアルノデアアル。(後節ノ覺醒法ノ條下参照)。

第五、長時間ニ亘ツテ施術ヲシタ場合ニハ、覺醒前ニ於テ、

慰安的暗示(後節、覺醒法ノ條下参照)ヲ與ヘルユトヲ忘レナ。

長時間ニ亘ツテ施術ヲシタ場合ニハ、被術者ノ心身ヲ



疲勞サセルコトガ多イノデアル。此場合ニハ、是非共、慰安的暗示ヲ與ヘテ、被術者ノ心身ヲ慰安セシムル必要ガアルノデアル。

○第七節、催眠歩合ニツイテ、

催眠歩合ニ至ツテハ、之ヲ論ズル必要ハ更ニ無カラウト。思フノデアル。其ノ外デモ、無イガ催眠歩合ナルモノハ、術者其人ノ技術ノ巧拙如何ニ依ツテ、非常ナル差ガ生ズルカ。ラデアル。催眠スル根本的原理ハ、被術者ノ精神作用ニ歸スル。ト云ヘ、此精神作用ヲ利用シテ、催眠ニ向ハシムル技術ニ至ツテハ、全ク術者其人ニ歸スルノデアアル。其レニ實驗家ノ多ク、自分ノ技術ニ於ケル巧拙如何ヲ顧ミズシテ、却ツテ、之以上ニハ、催眠サセルコトノ出來ナイモノノ如ク、歩

合表ヲ示シテ居ラレルノハ、實ニ予ノ不審デナラナイ所デアアル。

予ハ普通ノ精神作用ヲ備ヘタル被術者ニシテ、眞實的希望心サヘアラバ、方便法ノ利用法ヤ、暗示ノ利用法ニ依ツテ、如何ナル者サモ、催眠サセルコトノ出來得ルコトハ、予ノ實驗ニ照ラシテ、斷言シテ置ク考ヘデアアル。

諸君希クハ、予ノ廣言ナラントノ疑心ヲ起サス方便法ヤ、暗示ノ利用法ニ充分ナル研究サヘアラバ、意外ナル成效ヲ見ラレルコトハ、予ハ茲ニ斷言シテ置クノデアアル。之レ即チ予ガ方便法ヤ、暗示ノ利用法ヲ獎勵スル所以デアアル。

○第八節、催眠狀態及其階級

催眠狀態トハ、前述ノ催眠方法ニ基イテ、人ヲ催眠セシメタ



ル後ノ状態ヲ云フノデアアル。而シテ此状態ニ導ク時ニハ、其人ノ精神作用ガ平素トハ全ク一變シテ、術者ノ暗示ニ對スル感應ノ度ガ強烈トナリ、其結果左ノ如キ種々ノ奇現象ヲ起サセルコトガ出來ルノデアアル。

(イ) 精神作用ヲ變化サセルコトガ出來ル。

(ロ) 感覺ヲ過敏若シクハ遲緩ナラシムルコトガ出來ル。

(ハ) 有意運動ヲ自由ニ束縛スルコトガ出來ル。

(ニ) 幻覺并ニ錯覺ヲ自由ニ起サセルコトガ出來ル。

(ホ) 疾病治療并ニ惡癖矯正ヲスルコトガ出來ル。

(ヘ) 天眼通的實驗ヲスルコトガ出來ル。

尙右ノ外暗示ノ與ヘ方一ツデ種々雜多ノ奇現象ヲ起サセルコトガ出來ルノデアアル。併シ本編ニハ治療的催眠術ヲ主

トシテ述ブル考ヘナレバ、治療以外ニ於ケル催眠現象ノ如キハ必要デモ無ケレバ省畧スルコトニシタ。若シ讀者ニシテ催眠現象ノ一般ニ關シテ御研究ノ希望心アル者ハ拙著心理治療法催眠術編東京青木嵩山堂發行第四章ニ於テ詳述シテ置イヌカラ御参照アラシムコトヲ乞フ。

兎ニ角催眠方法ニ依ツテ人ヲ催眠状態ニ導キ得ルコトハ前述ノ如クデアアルガ併シ催眠状態ナルモノニハ種々ノ階級ガ有ツテ各暗示感應ノ度ヲ異ニシテ居ルノデアアル。今其階級ニ關シテ少シク意ノ有ル所ヲ述ベテ見ヤウ。

扱催眠状態ノ階級ニ就イテハ學者其人ニ依ツテ種々ナ方面ヨリ分類サレテ居ルノデアアル。即佛蘭西ノシヤコールハ三階級ニ白耳義ノ「テルブーフ」ハ疼痛的感覚ノ有無ニ依ツ



テ二階級ニ獨逸ノ「マツクス」デヅイル「ハ機能錯亂ノ多少ニ  
 基イテ二階級ニ「フォレル」ハ覺醒後記憶ノ有無ニ依ツテ三  
 階級ニ其他佛蘭西ノ「リポール」ハ六階級ニ「ベルンハイム」ハ  
 五階級ニ分類サレテ居ルガ其大體ニ至ツテ「ハ」フオレルノ  
 分類ニ一致シテ居ルノデアル。

併シ予ハ催眠状態ヲ進ムル順序ニ基イテ左ノ五階級ニ分  
 類スルノガ却ツテ初學者ニハ便利ナラント思フノデアル

第一階級 少睡状態

之レハ少シ睡氣ヲ催シテ閉目ハシテ居ルガ暗示ニハ  
 感應シ難キ状態ヲ云フ此状態デハ無論疼痛的感覚モ  
 有リ覺醒後ニ記憶モ有ルノデ被術者自心ニモ「眠ラズ」  
 ト自覺シテ居ルノガ普通デアル從ツテ暗示ニ基ク諸

實驗ハ行ハレ難イノデアル。

第二階級 半睡状態

之レハ前状態ヨリハ一層睡氣ヲ増シテハ居ルガ未ダ  
 熟睡ニ至ラズ半睡半醒ノ状態ニアルヲ云フノデアル  
 此状態デハ稍暗示ニ感應スルモ尙多少ノ反抗心モア  
 リ又疼痛的感覚モアリ又状態中ノ出來事ハ覺醒後記  
 憶シテ居ルノガ普通デアルガ稀レニハ全ク之レニ  
 反スルモノモアルノデアル。

第三階級 熟睡状態

之レハ熟睡無我ノ状態デ普通ノ睡眠ト同状態デアル  
 顔貌モ變シテ居ル呼吸作用ハ深大トナツテ恰モ肩デ  
 呼吸スルモノノ如ク脈搏ハ少シ遲緩トナリ瞳孔ハ散



大シ眼瞼ノ反射機能ハ休止シテ居ル稀ニハ軒聲ヲ  
 發シタリ垂涎スル者モアル此状態ニハ暗示ニ感應ス  
 ルユトガ正確デ諸種ノ實驗ヲ試ムルニハ適當ナル状  
 態デアノ彼ノ殘續暗示ノ如キモ此状態ニ於テ正確ニ  
 行ハルルノデアノ而シテ此状態ノ多クハ疼痛的感覺  
 モ無ク又状態中ノ出來事ニ關シテハ覺醒後記憶ノ無  
 キガ普通デア  
 備考此状態ハ術者ガ被術者ノ手ヲ上方ニ擧グレ  
 バ其儘上方ニ前方ニ延セハ其儘前方ニ術者ノ與ヘタ  
 其儘ノ位置ニ何時マデモ強直状態ヲ示シテ居ルノデ  
 アル之ハ術者ノ言語的暗示ハ無キモ形式的暗示ヨ  
 リ起ル現象ニ過ギナイデア

第四階級 睡遊状態

之レハ前状態ノ一層進ンダ状態デア眼ハ開イテ居ル中  
 ニハ開カヌ者モアル言語ハ明瞭デアルシ動作ハ活潑  
 デアル其状態ハ恰モ夜遊症患者ノ状態ト類似シテ居  
 ル一見シタ所デアハ普通覺醒ノ状態ト大差ハ無イガ唯  
 異ナル點ハ術者ノ暗示ニ感應シ易イノト術者ノ暗示  
 以外ニハ自分ノ意志ヲ以テ何事ヲモ爲ストハ出來  
 ナイトニツデアアル併シ與ヘタ暗示ノ種類ニ依ツテ  
 ハ其暗示ノ範圍内ニ於テ自分ノ意志ヲ活動サセ種々  
 ノ行為ヲ表スガ普通デア  
 備考前状態ヨリ此状態ニ導クニハ前状態即閉目中  
 ニ種々ノ幻覺的實驗ヲ爲シ其實驗ノ正確ニ行ハルル



試ムルニハ最モ適當ナル状態デアアル此状態ニ於テハ  
 無論疼痛的感覺モ無ク又状態中ノ出來事ハ覺醒後ニ  
 記憶無キガ普通デアアル  
 備考此二次熟睡状態ナルモノハ多クノ實驗家諸氏  
 ハ催眠状態ノ階級中へハ加へテハ居ラヌガ予ハ實  
 驗上ヨリ階級ノ一ツトシテ加へテ置キタイノデアアル  
 其ノ外デモ無いガ前熟睡状態ヨリモ此二次熟睡状  
 態ノ方ガ却ツテ無我ノ状態トナリ易ク從ツテ暗示感  
 應ノ度モ強ク又天眼通的實驗ノ如キモ比較的正確ヲ  
 シク思フカヲデアアル  
 併シ右分類ニ關シテハ決シテ完全ニ出來ルモノデハ無い  
 少睡状態ヨリ二次熟睡状態ニ導クマデニハ漸移的デ恰モ

第五階級 二次熟睡状態  
 之レハ前睡遊状態ニ於テ種々ノ實驗ヲ爲シタル後  
 眠レトノ催眠的暗示ヲ與ヘテ再ビ熟睡無我ノ状態  
 ニ導キタル状態ヲ云フノデアアル而シテ此状態ハ前熟  
 睡状態ヨリモ熟睡ノ度深ク暗示感應ノ効力モ一層正  
 確デアアル從ツテ殘續暗示ヲ與ヘタリ天眼通的實驗ヲ  
 ハ出來ナイノデアアル無キガ普通デアアルガ斷言スルコト  
 テハ覺醒後記憶ノ爲メ又此状態中ノ出來事ニ關シ  
 ニ此状態ニ導クノデアアル又此状態中ノ暗示ヲ與ヘテ遂  
 示ヲ與ヘテ開目爲メ次ニ種々ノ暗示ヲ與ヘテ暗  
 ナ起サセテ置キ其幻覺ニ對シ目ヲ開イテ見ヨトノ暗  
 時ヲ俟ツテ何かノ幻覺(櫻花デモ梅花デモ何デモ宜イ)



坂ヲ昇ルガ如クニ進ンデ行クモノデアアル。從ツテ、是レカラ  
ガ何状態是レカラガ何状態ト確然ト分類ノ出來ルモノデ  
ハ無イ。又、少睡状態ニ至ルマデニモ幾種カノ階級ヲ踏マ  
ハナラヌコトモ推察スルコトガ出來ルノデアアル。其レニ被  
術者其人ノ心性如何ト術者ノ方法如何トニ依ツテ種々雜  
多ノ階級ガ生ズルノデアアル。之レヲ要スルニ階級ナルモノ  
ハ、其大要ヲ分類シタルマデ、到底完全ニハ、出來ルモノデ  
ハ無イノデアアル。  
又、暗示感應ノ有無ノ如キモ、催眠状態ニ於ケル階級如何ニ  
依ルベキモノデハ無イ。被術者ヲシテ強固ナル確信ヲサヘ  
得サスレバ、普通覺醒ノ状態ニ於テモ、又、暗示ノ種類ニ依ツ  
テハ、感應サセルコトモ出來ルノデアアル。予ガ獎勵シツツア

ル、無催眠療法ノ如キハ、全ク此原理ヲ應用シタルニ過ギナ  
イノデアアル。  
又、右階級ニ於ケル順序ノ如キモ、普通催眠方法ニ依ツテ導  
ク順序ニ基イテ述べタノデアアル。方法ノ如何ニ依ツテハ、右  
階級ノ順序ヲ踏マズ、且ツ睡眠ノ状態ヲ起サセズ術被二者  
互ニ言語ヲ交ヘツツ、不知不識ノ間ニ睡遊状態ニ導クコト  
ノ出來得ルコトハ、既ニ述べタ如クデアアル。  
○第九節 催眠後ニ於ケル療法。  
催眠状態ニ於ケル暗示感應性ノ強キコトハ前述ノ如クデ  
アルガ、催眠術ニ於テハ、此感應性ヲ利用シテ強烈ナル治療  
的觀念ヲ起サシメ、其結果、心身相關ノ作用ニ基イテ疾病ヲ  
治療スルコトガ出來ルノデアアル。



例へバ、腹痛患者ヲ催眠状態ニ導キタル後、

「オ前サンノ腹痛ハ癒ツテ仕舞ツタデス。最早痛ミハ少シモアリマセン。眼ガ醒メテカラ後ニナツテモ、少シモ痛ミノ起ルヤウナコトハアリマセン」。

ト、強ク治療的ノ暗示ヲ與ヘテ置イタ場合ニハ、此暗示ニ依ツテ起サセタ治療的觀念ノ爲メ、心身相關ノ作用ヲ起シテ、治療ノ効ヲ奏スルコトガ出來ルノデアル。併シ、被術者、其人ノ心性ト、疾病ノ種類并ニ、輕重ノ如何ニ依ツテハ、前述ノ如キ治療的暗示ヲ與フルニ止マラズ、幻覺作用等ヲ利用シテ、被術者ノ信念力ヲ強烈ナラシメ、而シテ後ニ治療的ノ暗示ヲ與ヘ、之レニ對スル觀念ヲ強固ナラシムル場合モアルノデアル。但シ斯カル場合ニハ、被術者ノ神秘的論者、即迷信者

ナル場合ニ多イ。

尙病症ノ種類并ニ、被術者其人ニ依ツテハ、催眠中ニ普通暗示ヲ與フルニ止マラズ、殘續暗示ニ依ツテ覺醒後、自己暗示ヲ起サシメ、此結果、自己催眠ヲ起サシメテ、治療的ノ觀念ヲ比較的永久ニ持續ナサシメ、漸々的ニ快方ニ赴カシムル場合モアルノデアル。之レハ、多少器質的ノ損傷アル疾病ノ類

デ、一時ニ奏効ヲ望ムコトノ出來ナイ場合。  
免ニ角被術者其人ニ依リ、或ハ、病症ノ種類如何ニ依ツテハ、多少暗示ノ與ヘ方ニモ、差違ハアルガ、被術者ノ腦裏ニ治療的觀念ヲサヘ、強固ニ起サシムレバ、治療ヲ望ムコトガ出來ル。ト云ツテ、宜イノデアル。

備考、催眠方法ニ依ツテ完全ナル催眠状態ニ導キタル



後ハ唯術者ガ治療的ノ暗示ヲ與フルコトニ依ツテ平癒ニ向ハシムルコトガ出來ルノデアル。催眠方法ニ依ツテ被術者ヲ催眠状態ニ導ク技術ヨリ困難ナレ、一旦催眠状態ニ導キタル後ハ暗示感應ノ度モ強ク術者ノ任意ニ如何ナル現象ヲモ起サセルコトガ出來ルノデアル。從ツテ治療的暗示ヲ與ヘテ平癒ニ向ハシムル位ナコトハ至極容易ナル業ト云ハチバナヲヌノデアル。

併シ催眠状態ナルモノハ前節ニ於テ詳述シタル如ク種々ノ階級ガアツテ被術者其人ニ依ツテ其状態ヲ異ニシテ居ルノデアル。例ヘバ如何程催眠方法ヲ繼續スルモ少睡状態ヨリ以上ニハ進マヌ者モアル。或ハ熟睡状態ニハ進ムモ完全ナル睡遊状態ニハ進マヌ者モアルノデアル。

如此被術者其人ニ依ツテ多少状態ノ性質ヲ異ニシテ居ルノデアル。從ツテ暗示感應ノ度ニ於テモ強弱ノ差ガアルノデアル。

茲ニ於テカ被術者ニ於ケル催眠状態ノ階級ヲ精査シテ、其階級ニ適當シタル治療法ヲ施サチバナヲヌノデアル。然ラバ如何ニシテ其階級ヲ精査スルヤト云フニ外デハ無イ。漸々の暗示ニ依ツテ幻覺上ニ或ハ錯覺上ニ此他種々ノ點ニ於テ諸現象ヲ起サシメ、以テ暗示感應ノ強弱如何ヲ考ヘテ其状態ニ於ケル性質ヲ精査スルノデアル。而シテ半睡状態以下ノ状態ニ於テハ術者ノ暗示ニ對スル感應ノ度ガ強烈ナラチバ此場合ニ於テハ既ニ述ベタル無催眠療法ノ形式ヲ踏ンデ療法ヲ施スノガ適當デア



ルト思フノデアル。又、熟睡状態以上ニ於テハ、暗示感應ノ度強烈ナレバ、唯治療的ノ暗示ヲ與フルノミデ充分ト思フノデアル。併シ、無催眠療法ナルモノハ、普通覺醒ノ状態ニ於テスラ、奏効サセル便法ダカラ、此場合ニ之ヲ利用スレバ、至極結構ナル療法ト云ツテ宜イノデアル。

之レヲ要スルニ、催眠術療法ナルモノハ、被術者ヲシテ、催眠状態ニ導キ、而シテ後治療的暗示ヲ與フレバ、宜イノデアル。若シ被術者ノ催眠状態ニシテ薄弱ナル場合ニハ、無催眠療法ヲ施シテ置ケバ、宜イノデアル。

○第一節 覺醒方法

催眠術デ、眠ラセタナラバ、何日マデ眠ルモノデアラウカ、若シ覺醒セヌヤウナユトハ、アルマイカト心配スル者モアル。

ガ斯カル心配ハ決シテ不必要デアアル。術者ノ任意ニ覺醒サセルユトガ出來ルノデアアル。而シテ、其方法ニハ左ノ二種ガアルノデアアル。

(イ) 暗示的覺醒方法 (ロ) 形式的覺醒方法

ル方法ヲ云フノデアアル。例ヘバ、

「オ前サン、モウ起キナサイ。」トカ、「私が數ヲ數ヘマスカラ、十目ニ目ヲ醒シテ下サイ。」トカ、「私が、笛ヲ吹キマスカラ、笛ノ音ヲ聞ケバ、直グ起キテ下サイ。」トカ、「オ前サンハ五分間ノ後ニ目ガ醒マス。」トカ、云フ如ク、何デモ宜イ、術者ノ任意ニ覺醒的ノ暗示ヲ與ヘサヘスレバ、宜イノデアアル。



一旦眠ヲセサヘスレバ術者ノ暗示ニ感應シ易キコト  
ハ既ニ述ベタル如クテ從ツテ暗示ニ依リ覺醒サセル  
コトノ出來ルモ不審デハ無イノデアアル。  
反(口)形式的覺醒方法。||之レハ最初ニ眠ヲセタ形式的方法ノ  
反對ヲ行ヘバ宜イノデアアル。例ヘバ、

撫デ下口シテ眠ヲセタモノナラバ其レト反對ノ方向  
ニ何回デモ撫デ上ゲル。若シ手掌ヲ右ニ廻轉サセテ眠  
ヲセタモノナラバ其レト反對ノ方向ニ何回デモ廻轉  
サセサヘスレバ宜イノデアアル。

以上二種ノ方法ニ依ツテ覺醒ノ方法ハ會得ガ出來タデア  
ラウガ併シ前二種ノ方法ノ中何レガ最モ適當ナル方法カ  
ト云フニ予ハ形式的方法ヨリモ暗示的方法ニ重キヲ置キ

ダイ考ヘデアアル形式的方法ノミデハ迅速ニ覺醒サセルコ  
トノ出來ヌ場合ガアルガ暗示的方法ハ之レニ反シテ迅速  
ニデモ漸々ニテモ一定ノ時期シテデモ術者ノ任意ニ覺  
醒サセルコトガ出來ルノデアアル(暗示的方法ノ例参照)實ニ  
暗示的方法ノ便利ナルコトハ到底形式的方法ノ及ブ所デ  
ハ無イノデアアル。

其レニ形式的方法ノミニテハ覺醒當時ニ被術者ニ慰安ヲ  
與フルコトハ出來ヌガ暗示的方法ニ於テハ慰安ヲ與フル  
コトガ出來ルノデアアル。而シテ此慰安ヲ與フルコトハ實ニ  
大切ナコトデ若シ之レヲ缺ク時ニハ覺醒後被術者ノ心身  
ヲ疲勞ナラシメ往々不快ノ感ヲ起サセルコトガアルノデ  
アル。



而シテ、其慰安ヲ與ヘルトハ外デハ無イ。

「オ前サシ、今度眼ガ醒メタラ、精神ガ清々トシテ、氣持ナ  
ガヨク、決シテ、頭痛ガシタリ、身體ガ疲レタリハ、シマモ  
又ヨサア、徐々ト、起キテ見ナサイ。」

ト云フ如クニ、慰安的ノ暗示ヲ與ヘサヘスレバ宜イノデア  
ル。其レデ予ハ、形式的方法ヨリモ、暗示的方法ノ遙ニ勝レテ  
居ルコトヲ、斷言シテ置クノデアアル。

尙右ノ外、彈指的覺醒法、感通的覺醒法、等ノ種類ガアルガ  
左程ニ必要デモ無イカラ、省畧シテ置カウ。

注意 如何程深キ催眠狀態デモ、術者ノ暗示的覺醒法ニ  
依ツテ、覺醒スルガ普通デハ有ルガ、若シ此場合ニ於テ覺  
醒セナイ時ニハ、最早純粹ノ催眠狀態デハ無ク、レテ、一種

ノ變態ヲ生ジテ居ルノデアアル。斯カル場合ニハ、變態ニ對  
スル處置ヲ取レバ宜イノデアアル。(第一二三頁参照)

○第一章 精神療法ハ如何ナル疾病ニ効驗アルカ。

精神療法ニ基イテ治療ヲ望ムベキ疾病ノ種類ニ關シテハ、  
一概ニ斷言スルコトハ出來ナイノデアアル。即疾病ノ輕重如  
何ニ依リ、或ハ被術者ノ心性如何ニ依ツテハ、多少差違ノア  
ルベキコトハ、事實上、疑フコトノ出來ヌコトデアアルガ、今參  
考ノ爲メ、左ニ、最モ之レニ適スル病名ヲ列舉シテ見ヤウ。

- 頭痛、胃痛、卵巢痛、神經痛、僕麻質斯痛、神經的
- 皮膚ノ痒感、腦神經衰弱症、不眠症、睡眠症、癩癩
- 症、健忘症、吃語、寢語、夢驚、齒關、妊婦嘔吐



歌私的里。依卜。昆。怪。兒。鬱。憂。症。憤。怒。小。膽。驚。愕。  
 幻覺症。妄想。脊髓炎。脊髓勞。脚氣。遺精。早漏。  
 子宮痙攣。月經不調。遺尿症。胃痙攣。常習便秘。  
 下痢症。胃腸加多兒。狹心症。麻痺症。心悸亢進。  
 精神盲。色盲。夜盲。近視。遠視。神經性聾。耳鳴。  
 嗅覺脫失。味覺異狀。無踏症。食欲減退。等。  
 以上ノ如キ機能的疾病ニハ、效果顯著ナルコトハ、實驗家諸  
 氏ノ確ニ認ムル所デアアル。併シ、前述以外ノ器質的疾病ニ於  
 イテモ、效果無キモノトハ云ヘナイ。其疾病ノ輕重如何ト被  
 術者ノ心性如何ニ依ツテハ、往々顯著ナル。效果ヲ奏スルコ  
 トモアルノデアアル。  
 以上ノ如キ機能的疾病ハ治療シ易ク、器質

實驗精神療法終

的。疾病。ハ。治療。シ。難。イ。ノ。デアアル。  
 尙右ノ外、結核的諸症ニ、或ハ中毒的諸症ニ、於イテモ、多少効  
 果ノアルベキコトハ、實驗家ノ疑ハザル所デアアル。  
 之ノヲ要スルニ、被術者ノ心性如何ニ依リ、或ハ疾病ノ輕重  
 如何、并ニ其種類ノ如何ニ依ツテハ、一概ニ斷言スルコトハ  
 出來ナイガ、兎ニ角、治療的ノ暗示ヲ與フルコトニ依ツテ、治  
 療ヲ望ムコトガ出來ルト云ツテ、宜イノデアアル。  
 諸君希クハ、御實驗ノ上、御悟リアラシク、コトヲ乞フ。



明治四十年三月二十日印刷  
明治四十年四月一日發行

著者

藤岡熙嗣

實錄精神療法

東京市日本橋區通一丁目拾七番地

發行所

青木恒三郎

印刷所

大阪市西區新町北通一丁目六十五番屋敷  
嵩山堂印刷部  
電話西七八貳番

著作權  
所有

發行所

大阪市東區心齋橋筋博勞町角  
青木嵩山堂  
電話東區五〇番

定價金五拾錢

東京市日本橋區通一丁目角

發行所

青木嵩山堂

電話日本局七八九番



明治四十年三月二十日印刷  
明治四十年四月一日發行

著作

藤岡熙嗣

實政精神叢法

東京市日本橋區通一丁目拾七番地

發行

青木恒三郎

印刷

大阪府四區新町北通二丁目六十五番屋敷

所

嵩山堂印刷部

電話西七八番

發行

大阪市東區心齋橋筋博勞町角

著作  
所有

青木嵩山堂

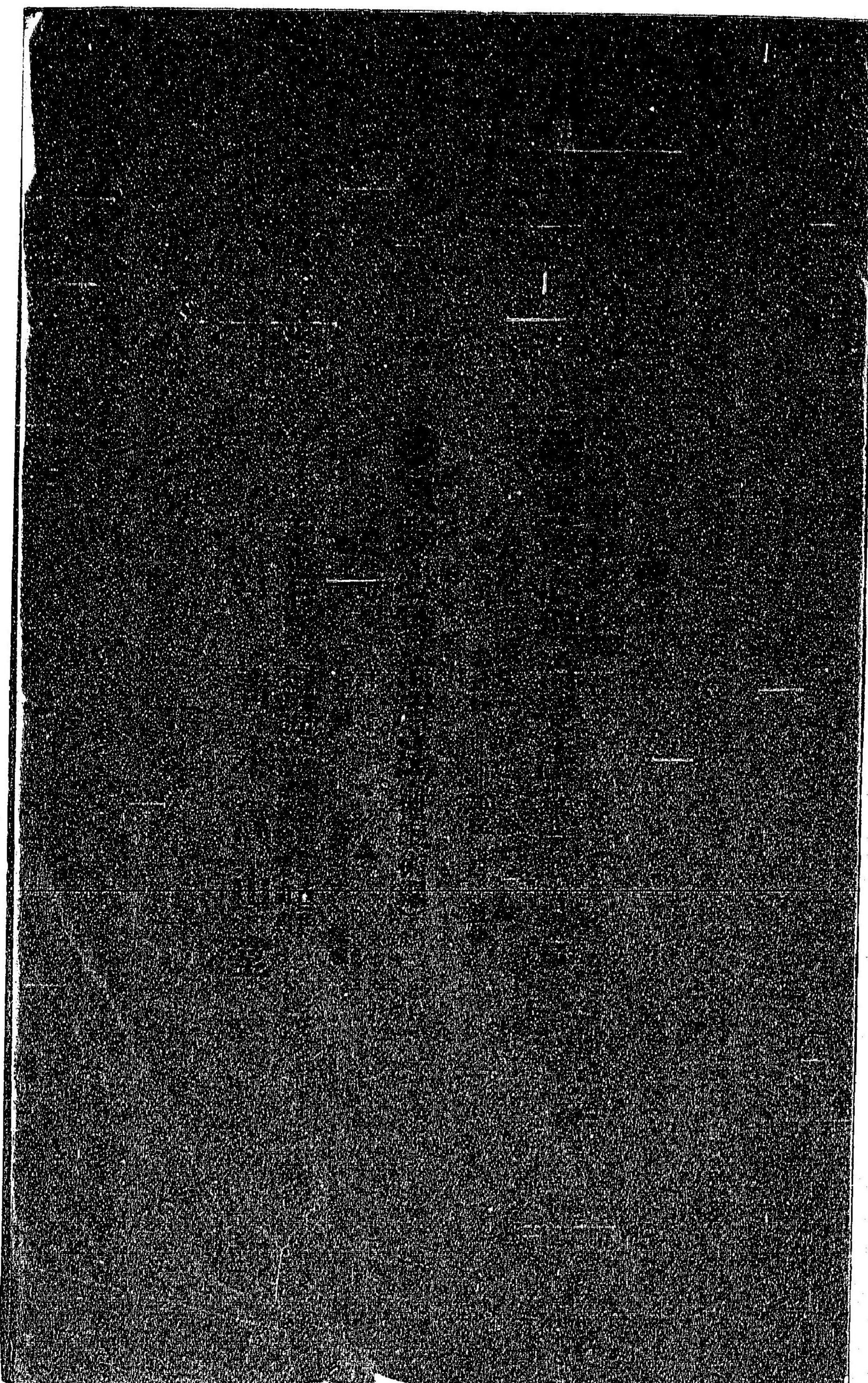
電話東五〇番

定價金五拾錢

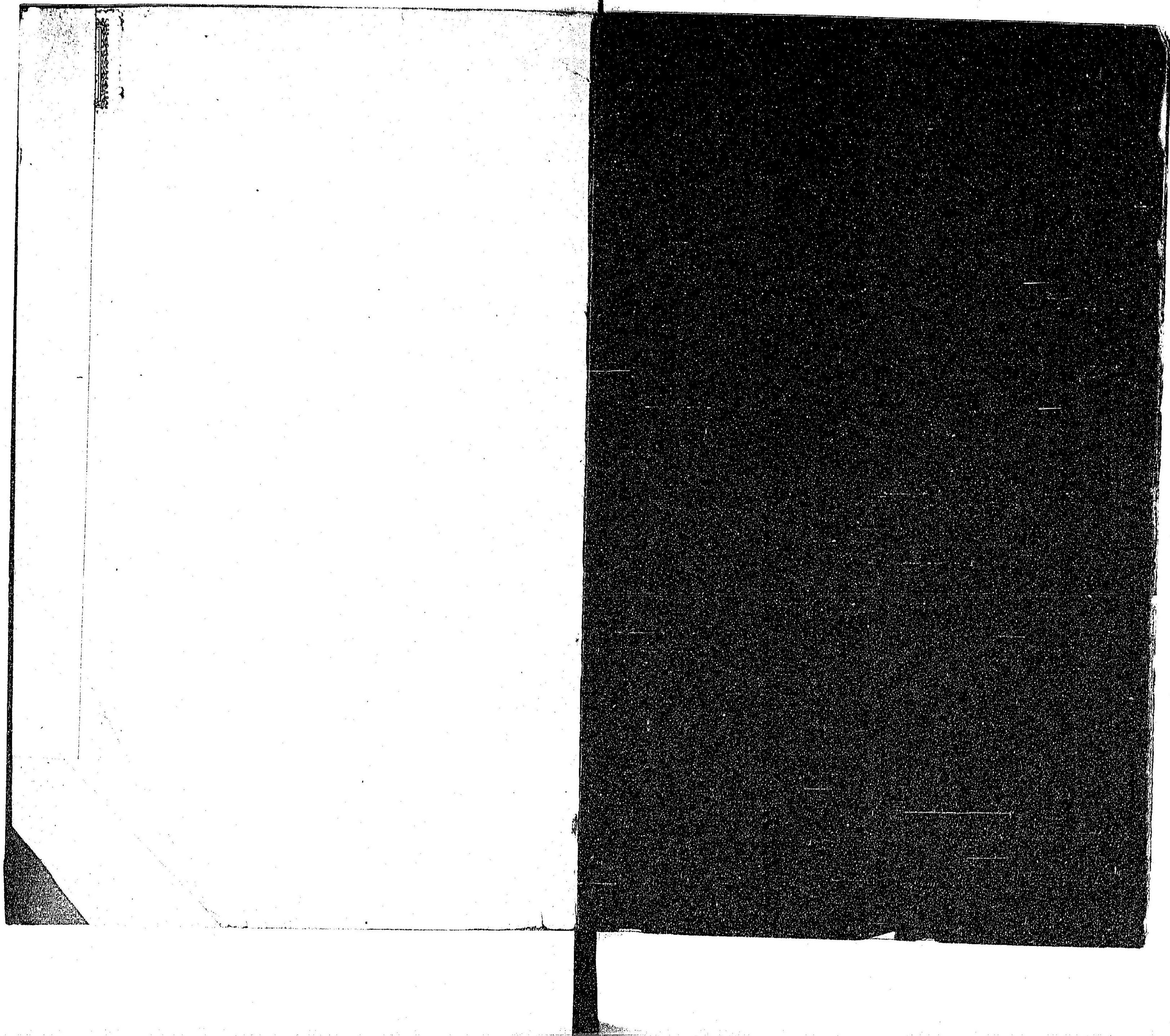
發行所

青木嵩山堂

電話本局七八九番







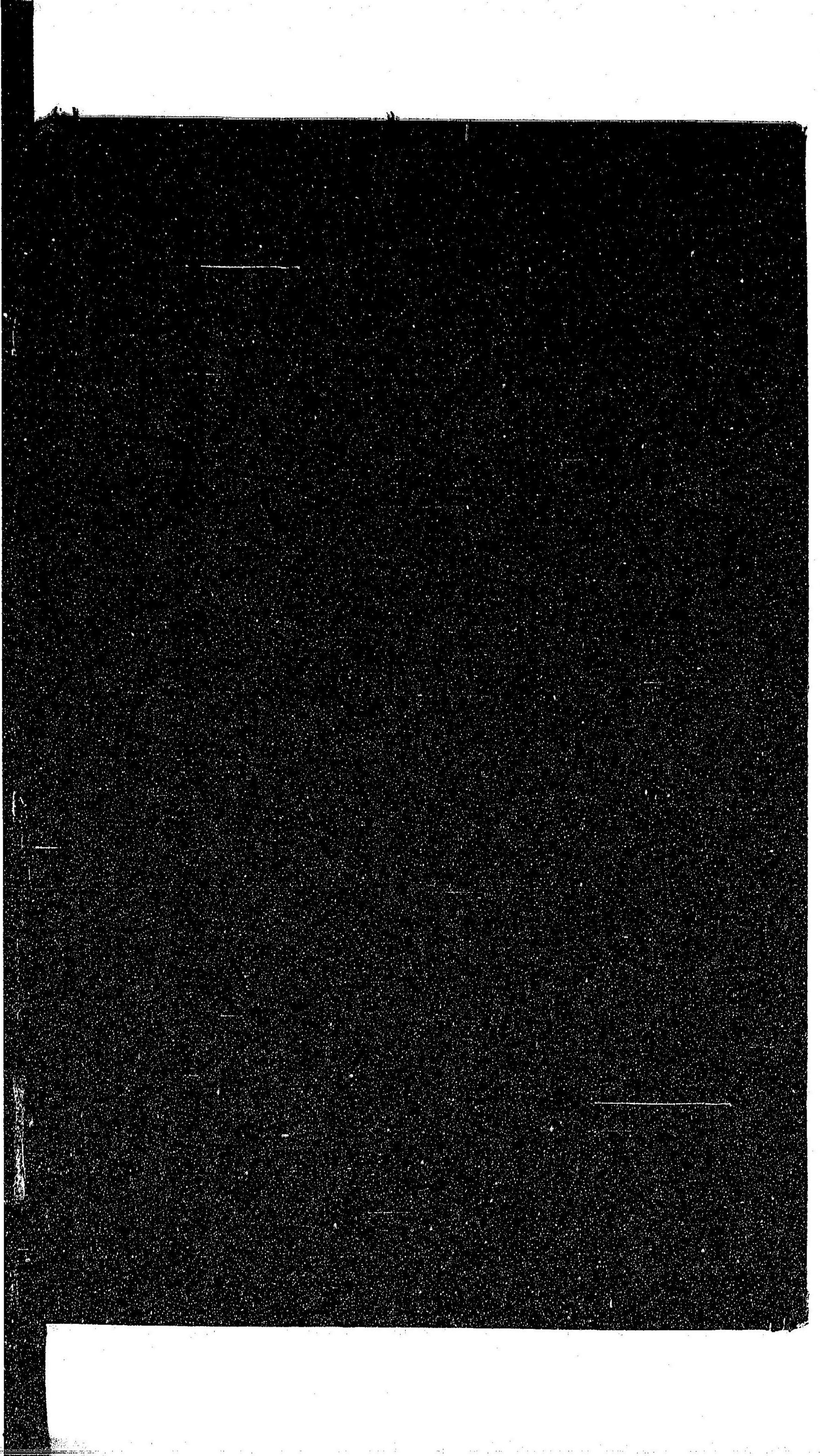






60  
209







058629-000-9

60-209

実験精神療法

藤岡 興嗣 / 著

M40

CBC-0154

